



MITSUBISHI
ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン スプリット形電算室用空調機 室内ユニット

形名

PFD-P960DM-E

PFD-P960DM-E-2C

PFD-P960VDM-E

PFD-P960VDM-E-2C

取扱説明書

冷媒

R410A

もくじ

安全のために必ず守ること	2
1. 各部の名称	6
1-1. 各部のなまえ	6
1-2. 付属品	7
2. ご使用前に	8
2-1. 使用上のお願い	8
3. 使いかた	9
3-1. リモコンの操作について	9
3-2. その他の操作について	33
3-3. 加湿器取扱について	42
4. お手入れ	46
5. 定期点検のお願い	48
6. 修理を依頼する前に	50
7. 保証とアフターサービス	53
7-1. 保証について	53
7-2. 修理について	53
7-3. 移設について	54
7-4. お問い合わせ	54
8. 環境関連の表示	55
9. 法令関連の表示	56
9-1. 機器予防保全の目安	56
9-2. 消耗部品の点検周期目安	57
10. 仕様	58

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 受注仕様品については製品の細部が、この説明書と若干異なる場合があります。
- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

ろう付け作業は、冷凍空気調和機器施工技能士（1級及び2級に限る。）又はガス溶接技術講習を修了した者、その他厚生労働大臣が定めた者が行うこと。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 吹出し風を身体に直接当てた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

改造はしないこと。


- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止


ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。

- ◆ 発火・火災のおそれあり。

使用禁止 


運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆ 火傷のおそれあり。

やけど注意 


ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止 


換気をよくすること。

- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気を実行 


電気部品に水をかけないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止 


異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行 


ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止 


端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行 


フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意 


基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行 


掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意 


ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行 

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆ 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意 

注意


ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止 


食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆ 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止 


殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止 


吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆ 悪影響のおそれあり。

使用禁止 


パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止 


運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止 


ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ◆ ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

使用禁止 

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

据付禁止 

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。



けが注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。



指示を実行

保護具を身に付けて操作すること。

- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を実行

電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。

- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



けが注意

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。



指示を実行

配管工事をするときに

⚠ 注意

ドレントラップの封水をすること。

- 定期点検時に、トラップ内に注水し封水状態を確認すること。
- 不備がある場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材の状態を確認し劣化しているものは補修または交換すること。

- 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



指示を実行

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

- ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

◆ 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用温度範囲を守ってください。

◆ 範囲外で使用了した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

◆ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

◆ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえ

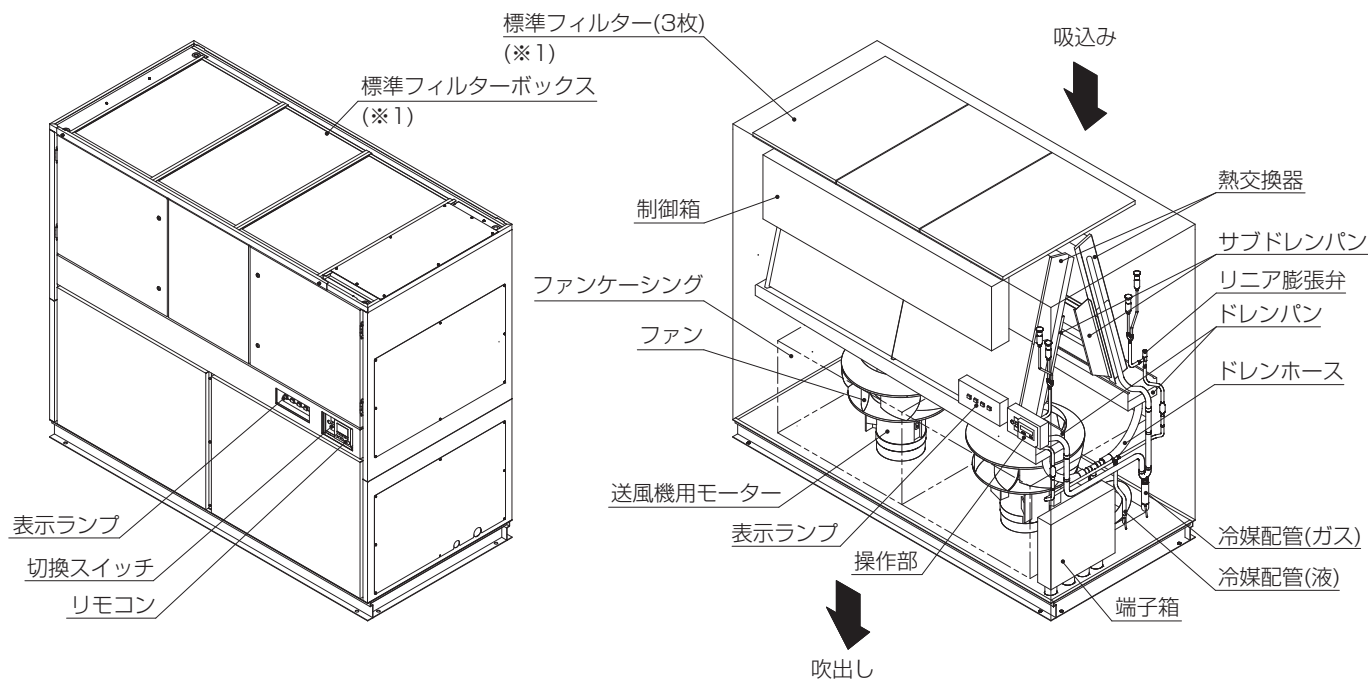
1-1-1. 本体部

[1] 室内ユニット

PFD-P960DM-E(-2C),
PFD-P960VDM-E(-2C)

外観

内部構造

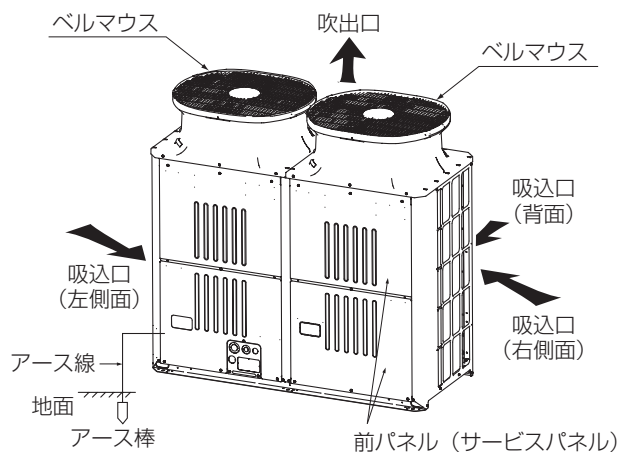


※1 標準フィルターボックスおよび標準フィルターは、別売となります。

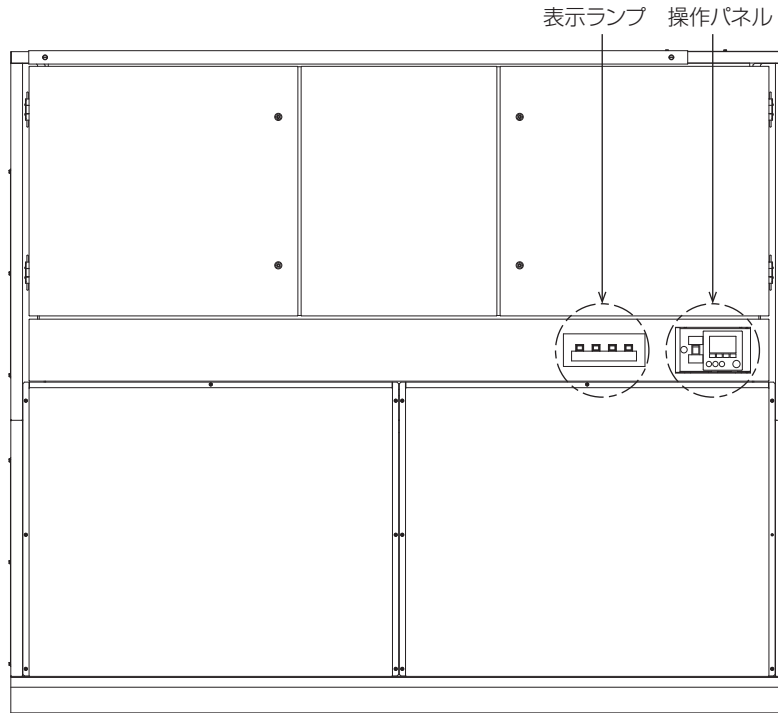
本図は、PFD-P960(V)DM-E形を示す。

[2] 室外ユニット

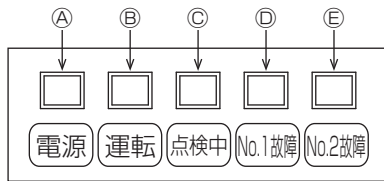
PUD-P480DM-E(-BS,-BSG),
PUD-P480SDM-E(-BS,-BSG),
PUD-P480VDM-E(-BS,-BSG),
PUD-P480VSDM-E(-BS,-BSG)



1-1-2. 操作部



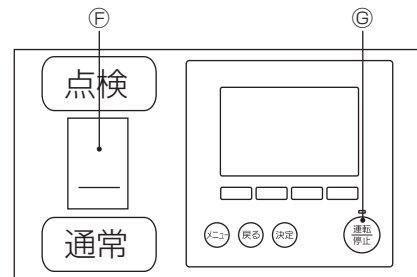
[1] 表示ランプ



- Ⓐ電源表示灯
電源が入っているとき点灯します。
- Ⓑ運転表示灯
運転時点灯します。
- Ⓒ点検表示灯
点検時点灯します。
- Ⓓ故障表示灯 1
冷媒系統 1 の故障時点灯します。
- Ⓔ故障表示灯 2 * 1
冷媒系統 2 の故障時点灯します。

* 1 PFD-P960(V)DM-E 形の場合、No.2 故障ランプはありません。

[2] 操作パネル



操作パネルを開けると操作機（リモコン）があります。
・操作パネルは、付属の六角キーにて開閉してください。

- Ⓕ通常・点検切換スイッチ
通常・・・通常運転するとき。
点検・・・点検運転するとき。
- Ⓖ運転・停止ボタン
一度押すと運転し、もう一度押すと停止します。

1-2. 付属品

本製品には下記部品が付属しておりますので据付前に確認してください。

	付属品	個数	付属場所	外形
①	ロックキー (前パネル開閉用)	1	ユニット外側	

2. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、据付工事の資格保持者が各種法令に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、販売店が試運転を行いますので、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

2-1. 使用上のお願い

上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

- 1) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。
 - 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
 - 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。
- 2) 長時間直接お肌に風をあてないでください。
 - 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。
- 3) フィルターの清掃をしてください。
 - フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、性能が落ち、電力のムダ使いとなります。また、露つき、露たれの原因にもなります。
 - フィルターは通常的环境下では約 2500 時間ごとに清掃してください。
- 4) 吸込み温度制御での温度設定について
 - 吸込み温度制御で温度設定を低くすると、吹出し温度が低くなり階下等の建物が結露する原因になります。
- 5) 使用温度範囲について
 - 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な事故の原因となります。

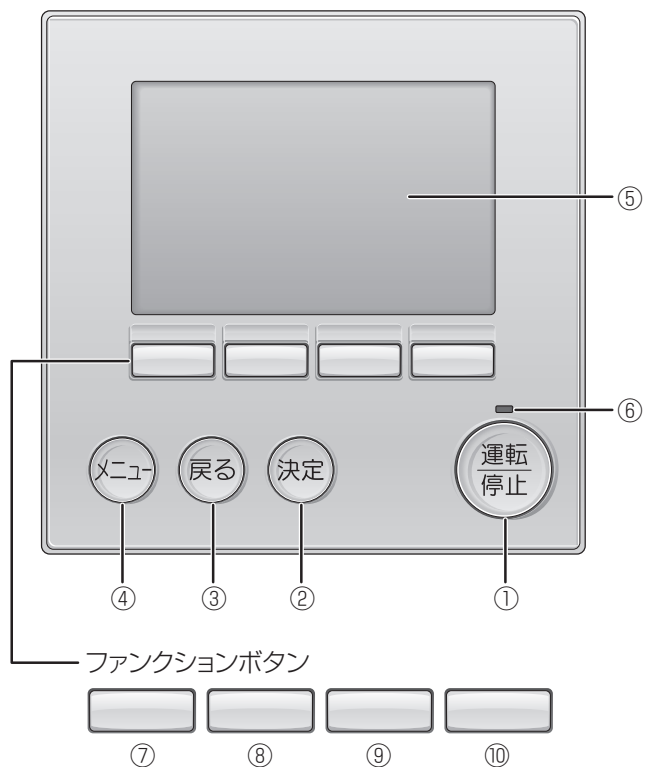
		室内	室外
冷房	乾球温度	19℃～35℃	-15℃～43℃
	湿球温度	12℃～24℃	—

※1 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度 30～80%です。

- 6) 冷房負荷が少ない環境では短時間運転させるだけでも室内温度が低下し、目標温度以下を維持してしまう可能性があります。

各部の名前とはたらき

操作部



① [運転/停止] ボタン

1度押しと運転し、もう1度押しと停止します。

② [決定] ボタン

設定の決定をします。

③ [戻る] ボタン

前の画面に戻ります。

④ [メニュー] ボタン

13 ページ

メインメニューを表示します。

⑤ 液晶表示部 (バックライト付)

運転内容を表示します。

バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
バックライトのみ点灯します。
([運転/停止] ボタンは除く)

⑥ 運転ランプ

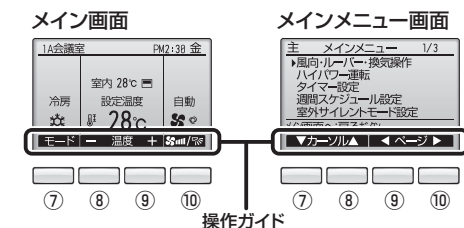
運転中、緑色に点灯します。

立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。

液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



⑦ ファンクションボタン [F1]

メイン画面：運転モードを切替えます。

メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

⑧ ファンクションボタン [F2]

メイン画面：設定温度を下げます。

メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

⑨ ファンクションボタン [F3]

メイン画面：設定温度を上げます。

メインメニュー画面：前のページを表示します。

⑩ ファンクションボタン [F4]

メイン画面：風速を切替えます。

(PFD-P960(V)DM-E(-2)では未対応)

メインメニュー画面：次のページを表示します。

3-1. リモコンの操作について

3. 使いかた

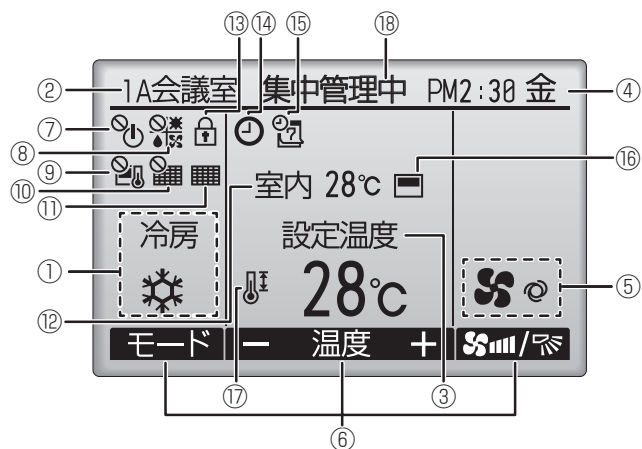
各部の名前とはたらき

表示部

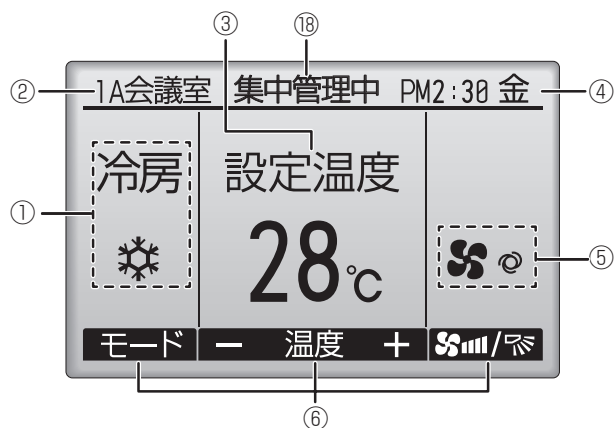
メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の2種類があります。
出荷時は詳細表示となっています。
簡易画面への切換えは「メイン画面表示設定」で変更します。(23 ページ参照)

詳細画面

※説明のためすべてのアイコンを表示しています。



簡易画面



① 運転モード表示 12 ページ

運転中の状態を表示します。

② リモコン名表示

リモコンの名前を表示します。
(異常猶予中は4桁のコードを表示します)

③ 設定温度表示 12 ページ

設定温度を表示します。

④ 時刻表示

現在の時刻を表示します。

⑤ 風速表示 (PFD-P960(V)DM-E(-2)では対応していません)

風速の状態を表示します。
※ 27 ページに記載の風量制限の設定は本アイコンには反映されません。

⑥ 操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

⑦ 表示

発停操作が集中管理中の時に表示します。

⑧ 表示

運転モード操作が集中管理中の時に表示します。

⑨ 表示

設定温度操作が集中管理中の時に表示します。

⑩ 表示

フィルターリセット操作が集中管理中の時に表示します。

⑪ 表示 30 ページ

フィルターのお手入れ・ダストボックスごみ捨て時期になると表示します。
清掃中は を表示します。

⑫ 室内温度表示

現在の室内温度を表示します。

⑬ 表示 21 ページ

操作ロック設定が有効の時に表示します。

⑭ 表示 15 ページ

オン/オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効の時に表示します。
タイマー設定が集中管理中の時は を表示します。

⑮ 表示 18 ページ

週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。

⑯ 表示

⑫の室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。
室内ユニットの時は を表示します。

⑰ 表示 20 ページ

設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。

⑱ 集中管理中 表示

集中管理された項目を操作すると「集中管理中」を一定時間表示します。

基本運転（運転 / 停止、運転モード切換、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。(13 ページ参照)

ご使用の前に

画面の流れ

[メニュー] ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。
 メインメニュー画面での操作のしかたは 13 ページを参照してください

メイン画面	
タイマー設定	
オン/オフタイマー	15 ページ参照
消忘れ防止タイマー	17 ページ参照
週間スケジュール設定	18 ページ参照
制限設定	
設定温度範囲制限	20 ページ参照
操作ロック	21 ページ参照
フィルター情報	30 ページ参照
異常情報	31 ページ参照
初期設定	
主従設定	22 ページ参照
リモコン名称設定	22 ページ参照
時刻設定	23 ページ参照
メイン画面表示設定	23 ページ参照
コントラスト調整	23 ページ参照
リモコン表示設定	24 ページ参照
管理者用パスワード登録	25 ページ参照
サービス	
試運転メニュー	26 ページ参照
サービス情報登録メニュー	26 ページ参照
機能選択	27 ページ参照
点検	28 ページ参照
自己診断	28 ページ参照
サービス用パスワード登録	29 ページ参照
リモコン診断	29 ページ参照
Q&A	32 ページ参照

室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

お知らせ 上記以外でリモコン上に表示される機能は、ご使用頂くことはできません。
 未対応のメニュー項目の選択操作を行った場合、メッセージ画面（14 ページ）を表示します。

取扱説明書内のアイコンの説明

使用方法

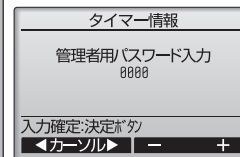
タイマー設定



取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表示しています。



設定を変更する場合、管理者用(またはサービス用)パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。



- F1 ボタン:カーソルが左に移動します。
- F2 ボタン:カーソルが右に移動します。
- F3 ボタン:数字を1減らします。
- F4 ボタン:数字を1増やします。



※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。



主リモコンのみ操作することができます。



運転中にのみ操作することができます。



停止中にのみ操作することができます。



冷房運転中のみ操作することができます。



操作ロック中、集中管理中に操作することができません。

使用方法・基本操作

運転・停止



操作方法

運転



[運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

停止



もう一度 [運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

設定温度範囲

運転モード	設定温度範囲
冷房	14 ~ 30℃
送風・換気	設定できません。

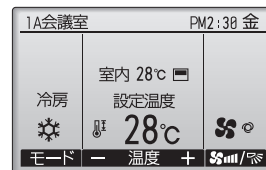
- ・運転を停止するとき、通常モードでは停止できません。点検モードに切替えてから、運転・停止スイッチを押してください。ただし、室内ユニット制御基板のスイッチ 1-10 が ON の場合（遠方発停入力を使用しない場合）には、通常モードでも操作機（リモコン）での発停操作は可能です。
- ・点検モード中は遠方発停入力やシステムコントローラ（別売）からの運転・停止操作はできません。
- ・システムコントローラ（別売）からの運転・停止および温度設定等の操作は、システムコントローラの取扱説明書をご覧ください。
- ・リモコン操作から運転・停止へ切替える場合、数秒かかることがありますが、異常ではありません。
- ・停電復帰後、空調機が自動的に運転を再開した後、最大 1 分間 MA リモコン表示部に「PLEASE WAIT」表示します。
- ・この間、MA リモコンを操作することはできません。緊急停止させたい場合は、漏電遮断器にて電源を OFF してください。

運転モード・温度設定



運転モード設定方法

操作方法



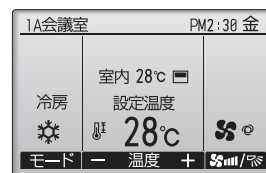
[F1] ボタンを押すごとに「冷房」「送風」の順に変わります。ご希望の運転に切換えます。



■室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。

温度設定方法

操作方法



設定温度は [F2] ボタンを押すごとに下がり、[F3] ボタンを押すごとに上がります。

- 設定可能範囲は設定温度範囲（12 ページ）を参照ください。
- 送風・換気運転の場合は設定できません。

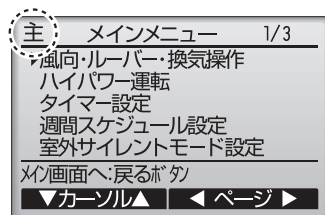
使用方法・メニュー操作

メインメニュー一覧

設定および表示項目	詳細内容	参照
タイマー設定	オン/オフタイマー ■ 運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。	P.15
	消忘れ防止タイマー ■ 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■ 設定時間は 10 分単位で 30 ~ 240 分まで選択可能です。	P.17
週間スケジュール設定	1 週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン/オフタイマー有効中は動作しません	P.18
制限設定	設定温度範囲制限 ■ 設定温度の範囲を制限します。 ■ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	P.20
	操作ロック ■ 指定した操作をロックします。 ■ 操作ロック中は指定した操作が無効となります。	P.21
フィルター情報	フィルターサイン発生状況を表示します。 ■ フィルターサインの解除を行います。	P.30
異常情報	ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■ 異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ■ 携帯電話点検コード検索サービスサイトの URL と QR コードを表示します。	P.31
初期設定	時刻設定 現在の時刻を設定します。	P.23
	メイン画面表示設定 ■ デフォルト：詳細表示 メイン画面の詳細表示と簡易表示の切り換えを行います。	P.23
	コントラスト調整 液晶の濃度の調整を行います。	P.23
Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	P.32

お知らせ メニュー項目が表示されても未対応の機能は、ご使用頂くことはできません。未対応のメニュー項目の選択操作を行った場合、メッセージ画面（14 ページ）を表示します。

従リモコンの制約事項

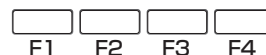
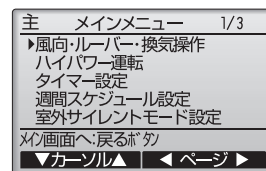


従リモコンでは以下の設定ができません。
主リモコンにて設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。
■ タイマー設定（オン/オフタイマー、消忘れ防止タイマー）
■ 週間スケジュール設定

メインメニュー画面での操作のしかた

操作方法

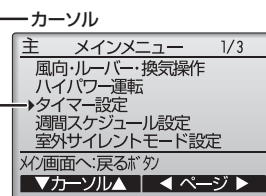
画面表示



[メニュー] ボタンを押します。

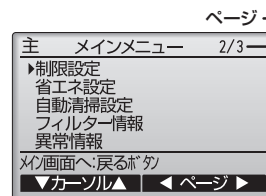
メインメニュー画面が表示されます。

項目選択



[F1] ボタンでカーソルが下がります。
[F2] ボタンでカーソルが上がります。

ページ移動

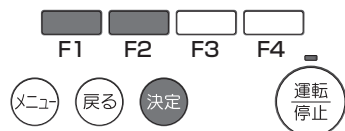
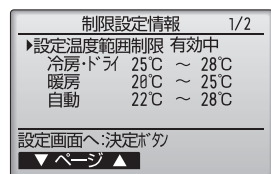


[F3] ボタンで前のページを表示します。
[F4] ボタンで次のページを表示します。

使用方法・メニュー操作

(続き)メインメニュー画面での操作のしかた

決定

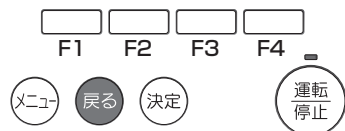
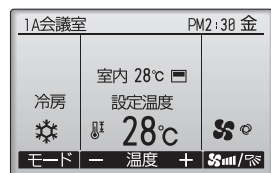


ご希望の項目を選択し、[決定] ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

- ・ドライ、暖房、自動モードは表示されますが、設定できません。

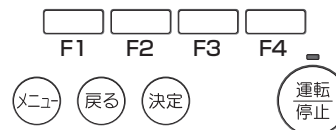
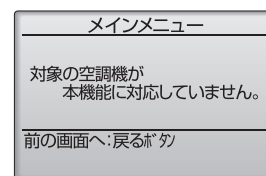
戻る



メインメニュー画面からメイン画面に戻るには [戻る] ボタンを押します。

各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。
このとき設定途中の内容は無効となります。

機能未対応



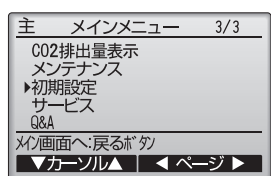
メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

使用方法・各種設定操作

時刻設定

操作方法

1

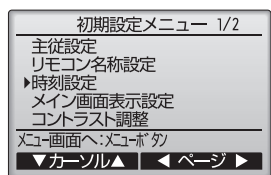


メインメニュー画面(13ページ参照)で「初期設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の設定には時刻設定が必要です。

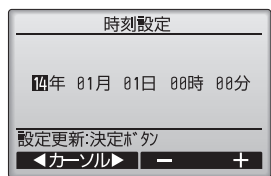
- オン/オフタイマー設定
- 週間スケジュール設定

2



[F1][F2] ボタンで「時刻設定」を選択し [決定] ボタンを押します。

3



[F1][F2] ボタンで「年(西暦下二桁)」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンで現在の日時に変更し、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

タイマー設定



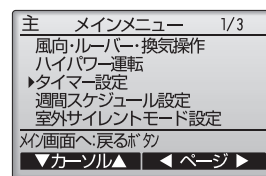
オン/オフタイマーの設定方法

毎日同じ時間に運転/停止する場合(繰返し)や、当日だけ運転/停止する場合(1回のみ)に設定します。運転/停止それぞれ1回ずつ設定できます。

※ 室内ユニット本体の通常/点検切替スイッチが「点検」の場合、または、室内制御基板のスイッチ SW1-10=ON に設定している場合にご使用可能です。

操作方法

1

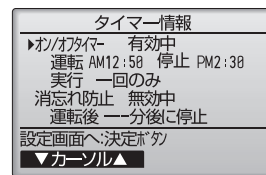


メインメニュー画面(13ページ参照)で「タイマー設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の場合、オン/オフタイマー設定は実行されません。

オン/オフタイマー無効中/異常中/点検中(サービスメニュー内)/試運転中/リモコン診断中/時刻未設定/機能選択中/集中管理中(運転/停止が禁止の場合/通常・点検切替スイッチが「通常」設定時)

2



現在の設定状況が表示されます。

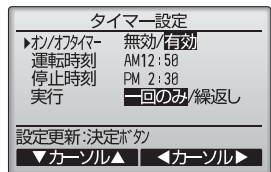
タイマー情報画面で「オン/オフタイマー」を選択し、[決定] ボタンを押します。

使用方法・各種設定操作

(続き)タイマー設定

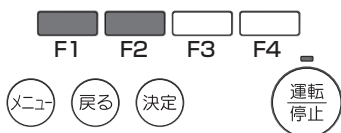


3

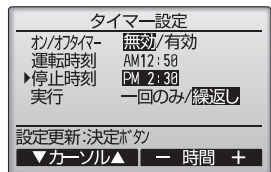


タイマー設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「オン/オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

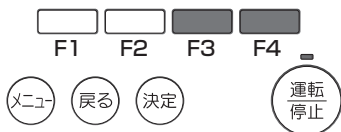


4

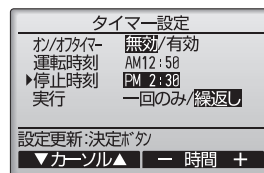


[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

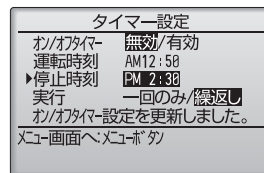
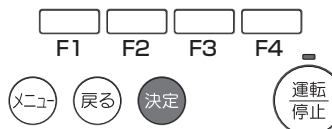
- オン/オフタイマー 「無効」「有効」
 - 運転時刻 5分単位で設定 ※
 - 停止時刻 5分単位で設定 ※
 - 実行 「一回のみ」「繰返し」
- ※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。



5



ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

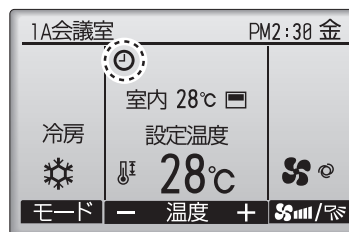


設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

オン/オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「🕒」が表示されます。



使用方法・各種設定操作

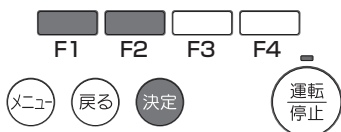
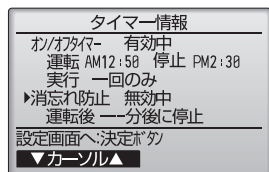
(続き)タイマー設定



消忘れ防止タイマーの設定方法

操作方法

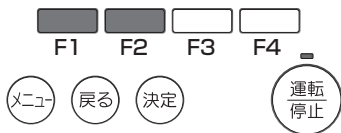
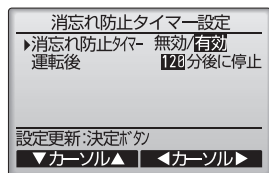
1



タイマー情報画面を表示します。
(15 ページ参照)
タイマー情報画面で「消忘れ防止」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。
消忘れ防止タイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転／停止が禁止の場合）

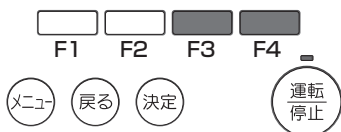
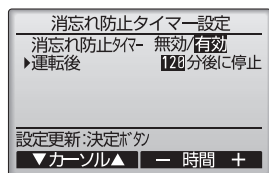
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

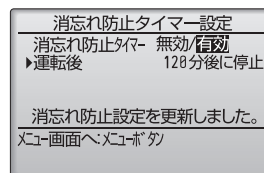
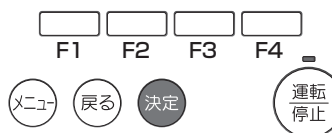
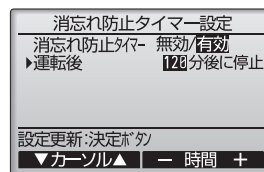
3



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- 消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
- 運転後 設定範囲：30～240分
10分単位で設定

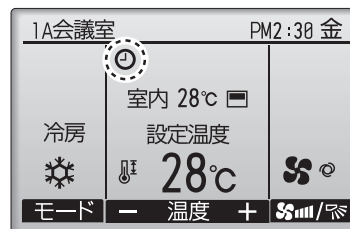
4



ご希望の設定に切換えた後、**[決定]** ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
 ■メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
 ■前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン



消忘れ防止タイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

使用方法・各種設定操作

週間スケジュール設定



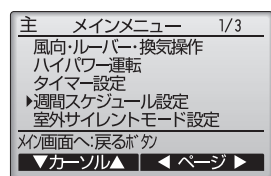
機能説明

曜日により運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転/停止設定温度をスケジュール設定します。設定が重複した場合、オン/オフタイマーが優先されます。

※ 室内ユニット本体の通常/点検切替スイッチが「点検」の場合、または、室内制御基板のスイッチ SW1-10=ON に設定している場合にご使用可能です。

操作方法

1



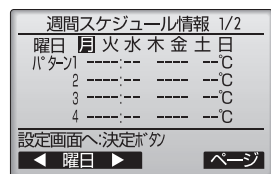
メインメニュー画面(13 ページ参照)で「週間スケジュール設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

集中管理中(運転/停止、設定温度、運転モードが禁止の場合)でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。

オン/オフタイマー有効中/週間スケジュール無効中/異常中/点検中(サービスメニュー内)/試運転中/リモコン診断中/時刻未設定/機能選択中/集中管理中(禁止中の項目 [運転/停止、設定温度] に該当する設定内容は実行されません。)

2



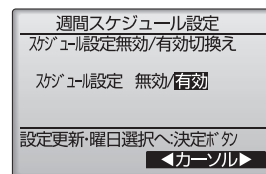
現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

[F4] ボタンで5～8パターンを表示します。

設定画面へ進むには **[決定]** ボタンを押します。

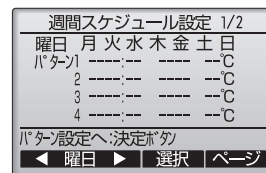
3



スケジュール設定無効/有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、**[F3][F4]** ボタンで「有効」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

4



週間スケジュール設定画面が表示されます。

現在の設定状況が表示されます。

1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、**[F1][F2]** ボタンで曜日を選択し、**[F3]** ボタンを押して設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できません。)

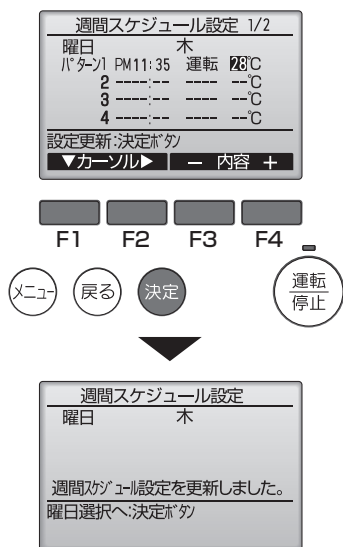
ご希望の曜日に選択した後、**[決定]** ボタンを押します。

使用方法・各種設定操作

(続き)週間スケジュール設定



5

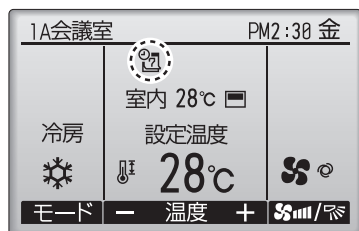



パターン設定画面が表示されます。
[F1] ボタンでパターンを選択します。
[F2] ボタンで「時刻」「運転/停止」「自動」「温度」を選択します。
[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。
■時刻 5分単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。
■運転/停止 「運転」「停止」
■温度 設定範囲: 接続される室内ユニットの設定可能温度範囲。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン
- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「」が表示されます。

このアイコンはオン/オフタイマー有効中は表示されません。

使用方法・各種設定操作

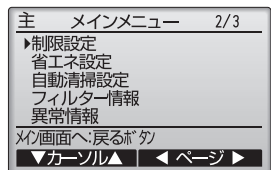
制限設定



設定温度範囲制限の設定方法

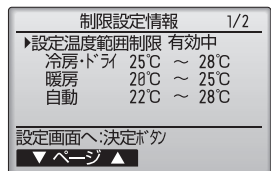
操作方法

1



メインメニュー画面(13ページ参照)で「制限設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

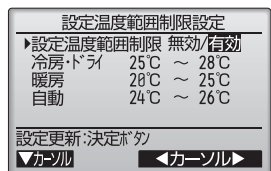
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し **[決定]** ボタンを押します。

3

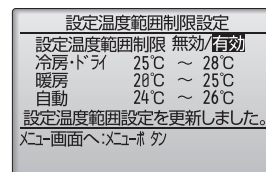
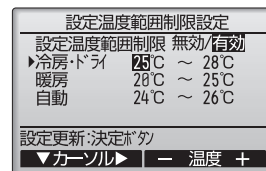


設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

[F1] ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房・ドライ上下限值」のうち、変更したい項目を選択します。

・ドライ、暖房、自動モードは表示されますが、設定できません。

4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 設定温度範囲制限 「無効」「有効」
- 冷房・ドライ上下限值 (1℃単位)

設定温度範囲制限の設定範囲

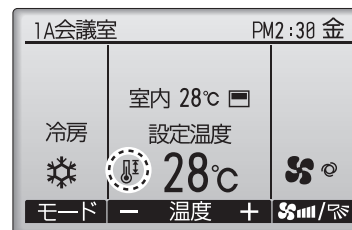
モード	下限値	上限値
冷房	14 ~ 30℃	30 ~ 14℃

・ドライ、暖房、自動モードは表示されますが、設定できません。

ご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン



設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

使用方法・各種設定操作

(続き)制限設定

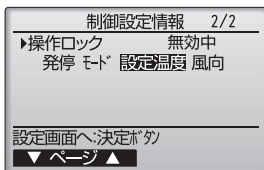


操作ロックの設定方法

操作方法

操作をロックするときは
操作ロック設定を「有効」にしてください。

1

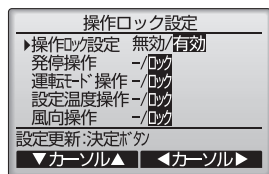


制限設定画面を表示します。
(20 ページ参照)

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、
[決定] ボタンを押します。



2



操作ロック設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」のうち、
変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

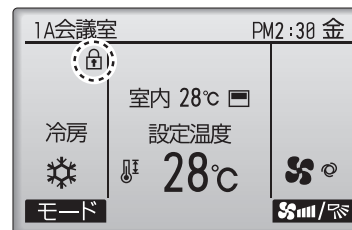
- 操作ロック設定 「無効」「有効」
- 発停操作 「-」「ロック」
- 運転モード操作 「-」「ロック」
- 設定温度操作 「-」「ロック」
- ・風向操作は表示されますが、設定できません。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。


設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



(設定温度ロック時の画面例)

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

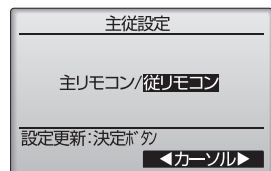
操作ロックに対応する操作ガイドが表示されなくなります。

使用方法・各種設定操作

主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法



- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「主従設定」を選択し **[決定]** ボタンを押すと、主従設定画面が表示されます。
- ② **[F3][F4]** ボタンを操作すると、現在選択している項目が反転表示されます。
従リモコンを選択した後、**[決定]** ボタンにより設定更新します。

画面移動方法

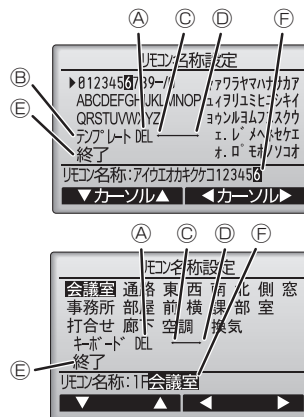
- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

リモコン名称設定



メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。リモコン名称は半角 16 文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は 1 文字あたり半角 2 文字分となります。)

操作方法



- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「リモコン名称設定」を選択し **[決定]** ボタンを押すと、リモコン名称設定画面が表示されます。
- ② **[F1] ~ [F4]** ボタンにて文字を選択し、**[決定]** ボタンで 1 文字ずつ決定します。
- ③ 決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」**[A]**を選択し **[決定]** ボタンを押します。
- ④ 「テンプレート」**[B]**を選択して **[決定]** ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)
- ⑤ 「←」**[C]**「→」**[D]**を選択すると、リモコン名称の文字入力カーソル**[E]**の文字が対象となり文字消去、変更ができます。
- ⑥ 入力が完了したら、「終了」**[E]**を選択し、**[決定]** ボタンを押してリモコン名称を決定します。

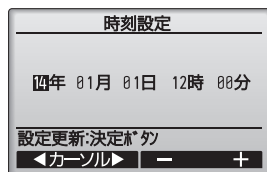
画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

使用方法・各種設定操作

時刻設定

操作方法



- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「時刻設定」を選択し [決定] ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。
- ② [F1][F2] ボタン変更する項目に移動します。
- ③ [F3][F4] ボタンにて年月日時分を変更し、[決定] ボタンで設定更新します。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

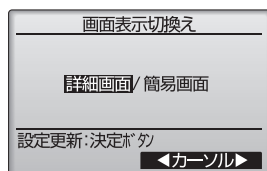
画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

お知らせ 「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

メイン画面表示設定

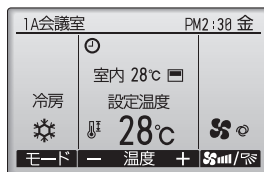
操作方法



- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「メイン画面表示設定」を選択し [決定] ボタンを押すと、画面表示切換え画面が表示されます。
- ② [F3][F4] ボタンにてメイン画面表示を設定します。
(工場出荷時は詳細画面です。)

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン



詳細画面 (例)

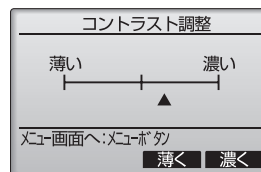


簡易画面 (例)

お知らせ 本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの(制御)状態を示すアイコン」や「室内温度」が表示されません。

コントラスト調整

操作方法



- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「コントラスト調整」を選択し [決定] ボタンを押すと、コントラスト調整画面が表示されます。
- ② [F3][F4] ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整します。
現在の設定が▲で示されます。

画面移動方法

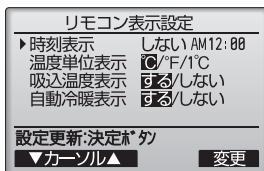
- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

お知らせ 据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。コントラスト調整により全方向から見やすくなることはできません。

使用方法・各種設定操作

リモコン表示設定

操作方法



リモコン表示設定画面

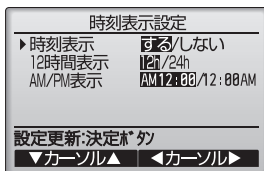
- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「リモコン表示設定」を選択し **[決定]** ボタンを押すと、リモコン表示設定画面が表示されます。
- ② リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。
各項目を設定後、**[決定]** ボタンにて設定更新します。
・自動冷暖表示は表示されますが、設定できません。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

時刻表示

操作方法



- ・リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて **[F4]** (変更) ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。
- ・**[F1]** ~ **[F4]** ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。
- ・**[決定]** ボタンにより設定を更新します。
(工場出荷時は“表示する/AM12:00表示”です)
時刻表示 : ・する (メイン画面に時刻表示します)
 ・しない (メイン画面に時刻表示しません)
- 12 時間表示 : ・24h (24 時間表示)
 ・12h (12 時間表示)
- AM/PM 表示 (12 時間表示の時のみ有効となります):
 ・AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)
 ・12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

お知らせ

12 時間表示形式、12 時間 / 24 時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。

12 時間表示、24 時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。

12 時間表示 : AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM1:00 ~ PM11:59
24 時間表示 : 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

温度単位表示

操作方法



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。
(工場出荷時は摂氏 (°C) です。)

- ・°C : 温度表示単位を摂氏表示にします。
- ・°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

吸込温度の温度表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。

(工場出荷時は「する」です。)

- ・する : メイン画面に室内温度を表示します。
- ・しない : メイン画面に室内温度を表示しません。

画面移動方法

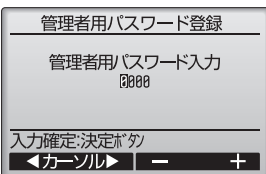
- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン

お知らせ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

使用方法・各種設定操作

管理者用パスワード登録

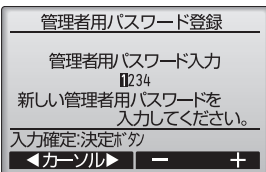
操作方法



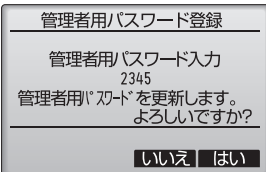
- ① メイン画面から「メインメニュー」→「初期設定」にて初期設定メニュー画面に移動し、「管理者用パスワード登録」を選択し [決定] ボタンを押すと、管理者用パスワード登録画面が表示されます。
- ② 最初に現在設定されている管理者用のパスワード(数字4桁)を入力します。
[F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて0～9の数字を設定します。
- ③ 4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

お願い 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて [F1][F2] ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。



- ④ パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し [決定] ボタンを押します。



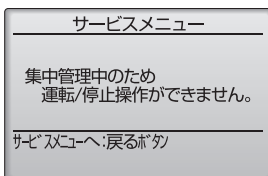
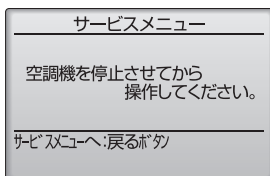
- ⑤ パスワード更新確認画面が表示されますので、[F4] (はい) ボタンにて更新します。
取り消す場合は [F3] (いいえ) ボタンを押します。

画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

お知らせ 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
・タイマー設定 ・週間スケジュール設定 ・制限設定 ・省エネ設定
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

サービスメニュー



お知らせ

サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。



メイン画面から「メインメニュー」→「サービス」にてサービスメニュー画面に移動すると、パスワード入力画面が表示されます。

現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。

[F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて0～9の数字を設定します。

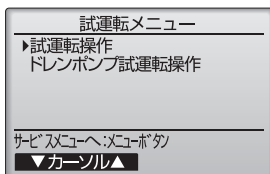
4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。

お願い サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて[F1][F2] ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

試運転



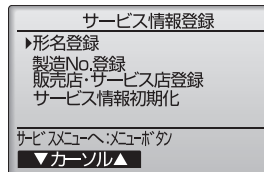
サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

- 試運転操作：試運転をおこないます。

- ドレンポンプ試運転操作は表示されますが、使用できません。

お知らせ 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

サービス情報登録



サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

お知らせ サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

- 形名登録
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
- 販売店・サービス店登録
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
- サービス情報初期化
形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

- 製造No.登録は表示されますが、使用できません。（製造番号は、形名登録で登録します。）

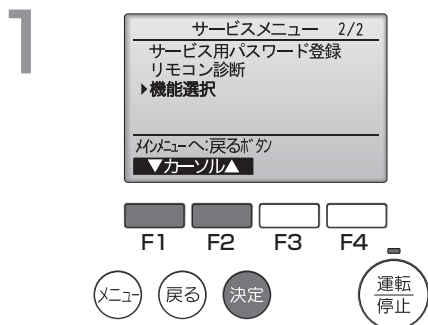
サービスマニュー

室内ユニットの機能選択

MA リモコンからの設定により、室内ユニットのファン風量制限（サーモ OFF 時）を実行できます。

ファン風量制限（サーモ OFF 時）

操作方法



MA リモコンのサービスマニュー画面で、**[F1][F2]** ボタンを操作し、「機能選択」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



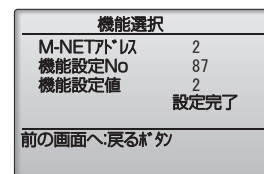
MA リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスが検索されます。

機能選択画面に戻り、**[F1][F2][F3][F4]** ボタンを操作し、ファン風量制限（サーモ OFF 時）を変更したい室内ユニット（制御基板）の M-NET アドレスを設定し、機能設定 No. を「87」に、機能設定値を「下表から設定したいモードの設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、**[決定]** ボタンを押します。

機能設定 No.	機能設定値
87	1：停止（風量 0%）
	2：弱（風量約 50%）
	3：中 2（風量約 70%）
	4：中 1（風量約 85%）
	5：強（風量 100%）
	15：本項目初期化

ファン風量制限（サーモ OFF 時）設定の際は以下にご注意ください。

- サーモ ON 時の風量は 100% 運転となります。
（圧縮機デマンド制御と連動したファン風量制限実施時はデマンド指定により 85% または 50% となります。）
- 本設定内容は、リモコンに接続する全ユニットがサーモ OFF 時の風量設定となります。
- 機能設定値：1（停止）を選択した場合、ユニットのサーモでは正しくサーモ判定できません。
リモートサーモなどをご使用ください。
- 機能設定値：15（本項目初期化）を選択した場合、初期値（工場出荷時設定）の「5（強）」の設定値となります。
- リモコンのメイン画面に表示される風速表示アイコンには反映されません。



設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

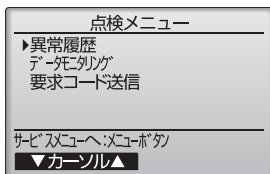
- PFD-P960(V)DM-E-2C の場合、M-NET アドレスが奇数アドレス・偶数アドレスの両制御基板を設定してください。
- 室内制御基板と室外制御基板（OC）を同時にサービス交換した場合、再設定が必要です。室内制御基板と室外制御基板（OC）を同時に交換したときは、必ず手順 1～2 の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

機能設定 No.	機能設定値
87	

- 室内制御基板のみを交換した場合は、交換前の設定値に自動設定されます。

サービスメニュー

点検

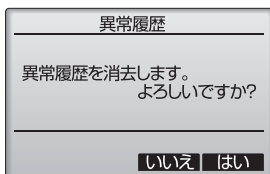


サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。



①異常履歴

点検メニューにて「異常履歴」を選択し、[決定] ボタンを押すと異常履歴を最大 16 件表示します。各ページに 4 件ずつ表示され、1/4 ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

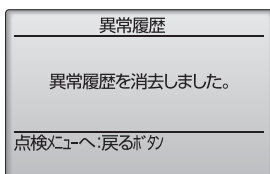


【異常履歴消去】

異常履歴が表示されている画面で [F4] (消去) ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

[F4] (はい) ボタンを押します。

「異常履歴を消去しました」が表示されます。
[戻る] ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。



②他の点検メニュー項目

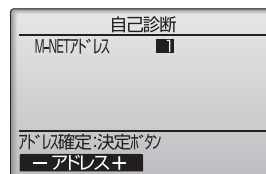
点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。

- ・ データモニタリング
- ・ 要求コード送信

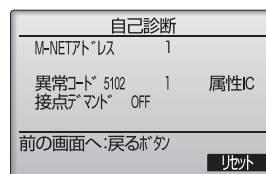
自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

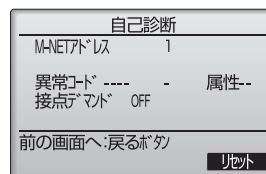
操作方法



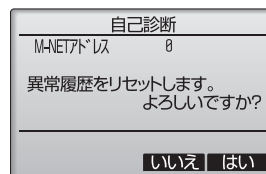
- ① サービスメニューにて「自己診断」を選択し、[決定] ボタンを押すと自己診断画面を表示します。
- ② [F1][F2] ボタンにて M-NET アドレスを設定し、[決定] ボタンを押します。



- ③ 異常コード・M-NET アドレス・属性・室内ユニットの接点デマンド ON/OFF 状態が表示されます。異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

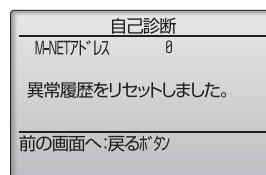


異常履歴が無い場合の画面例



【異常履歴リセット】

- ① 異常履歴表示中に [F4] (リセット) ボタンを押すと確認画面が表示されます。



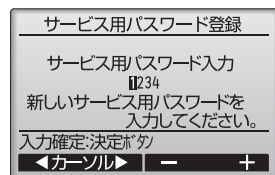
- ② 確認画面にて [F4] (はい) ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」を、ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

サービスメニュー

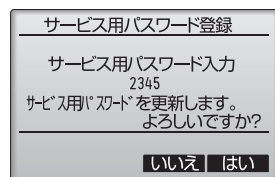
サービス用パスワード登録

サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

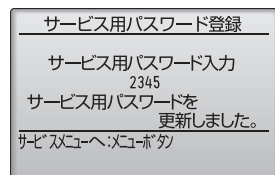
操作方法



- ① サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、**[決定]** ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。
- ② **[F1][F2]** ボタンで桁を選択し、**[F3][F4]** ボタンにて0～9の数字を設定します。
- ③ 4桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押します。



- ④ パスワード更新確認画面が表示されますので、**[F4]** (はい) ボタンにて更新します。
取り消す場合は **[F3]** (いいえ) ボタンを押します。



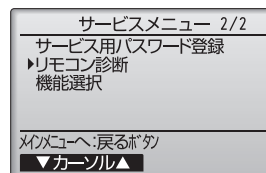
- ⑤ パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。
- ⑥ **[メニュー]** ボタンにてサービスメニューへ、または **[戻る]** ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。

リモコン診断

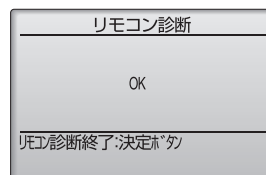
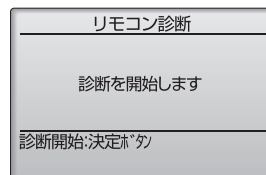
リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

- ・まずはリモコン表示の有無を確認してください（罫線含む）
リモコンに正常な電圧（DC8.5～12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

操作方法



リモコン診断への移行画面



リモコン診断結果の画面

- ① サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、**[決定]** ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。
リモコン診断を行わない時は、**[メニュー]** または **[戻る]** ボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。
この時、リモコンは再立上げを行いません。

OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。

6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

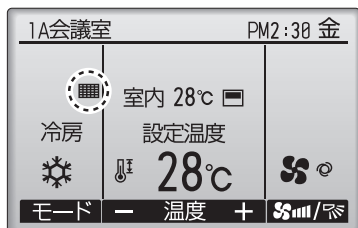
NG (ALLO、ALL1) :
リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。


ERC (データエラー数) :
データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

- ② リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

お手入れ

フィルター情報・フィルターサイン解除

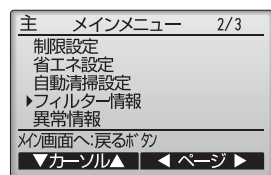


フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。

操作方法

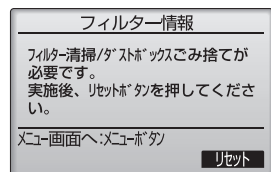
1



メインメニュー画面(13 ページ参照)で「フィルター情報」を選択し、[決定] ボタンを押します。



2

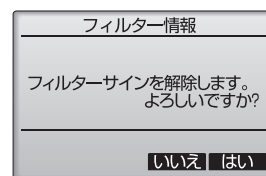


フィルター情報をリセットする場合は [F4] ボタンを押します。

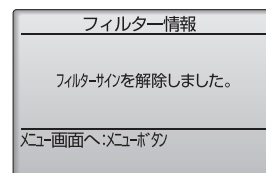
フィルター清掃のしかた、ダストボックスごみ捨てのしかたについては「4. お手入れ」をご覧ください。



3



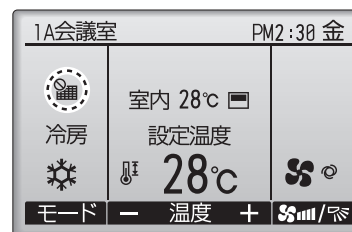
[F4] ボタンで「はい」を選択します。




設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン



詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

- フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。
- 「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

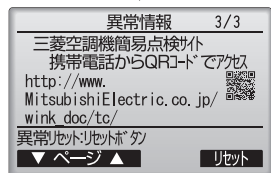
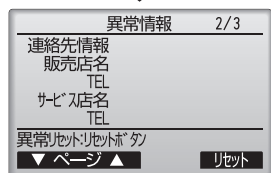
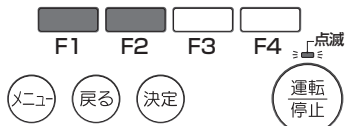
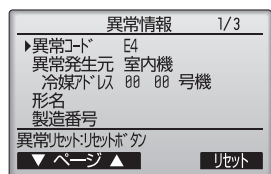
故障かな？と思ったら

異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

操作方法

1



異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合に表示されます。

[F1][F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。
あらかじめ手入力されている場合に表示されます。

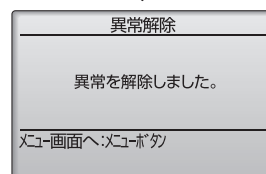
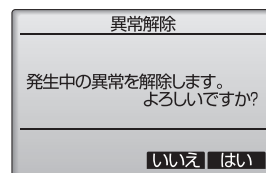
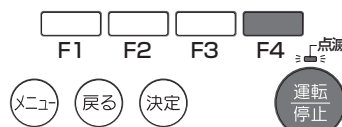
携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コード[®]と URL が表示されます。

QRコード[®]

二次元バーコードリーダー機能が搭載されている携帯電話をご利用いただけます。
携帯電話を QR コード[®] 読み取りモードに設定し、QR コード[®] 部分を読み込んでいただくと簡単にアクセスすることができます。

※ QR コード[®] は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

2



発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタンまたは [運転/停止] ボタンを押します。

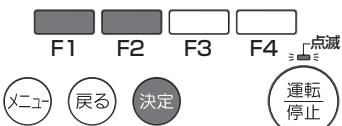
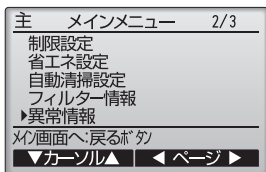
運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。

[F4] ボタンを押すと異常をリセットします。

画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

情報確認



異常が発生していない時、メインメニュー画面 (13 ページ参照) で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の 2/3、3/3 ページの内容 (31 ページ参照) を確認することができます。
異常リセットはできません。

故障かな？と思ったら

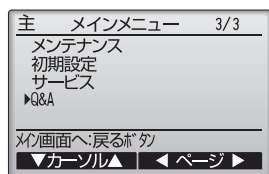
Q&A

下記のような Q&A を見ることができます。

- 代表的なトラブルシューティング
- 通常画面に表示されるアイコンの意味

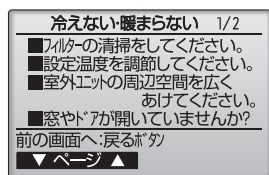
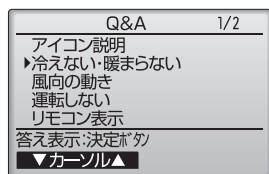
操作方法

1



メインメニュー画面(13ページ参照)で「Q&A」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

2



[F1][F2] ボタンにて状況を選択し **[決定]** ボタンを押します。

選択した状況に対する、対応方法が表示されます。

項目により複数のページがある場合は、**[F1][F2]** ボタンでページを切替えます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン

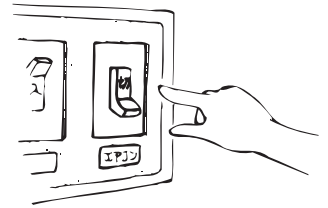
3-2. その他の操作について

3-2-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5 時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内ユニットの電源を切る。



[2] 再度使い始めるとき

下記手順 1～4 の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ・ エアコンの電源を「入」にしてから 12 時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルターを清掃して、取付ける。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。
アース工事をやり直す場合は、据付工事説明書に従って行ってください。
4. ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まり、トラップの破損などのないことを確認し、トラップに注水して、封水されていることを確認する。
5. 運転開始の 12 時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

3-2-2. 室内ユニット吸込み温度／吹出し温度制御について

本機種は、上記のいずれかの温度制御が選択可能です。

図に示す室内ユニットの制御器内の制御基板上的スイッチ SWC にて切換えが可能です。

製品出荷時は、吹出し温度制御設定（SWC が「OFF」設定）になっています。

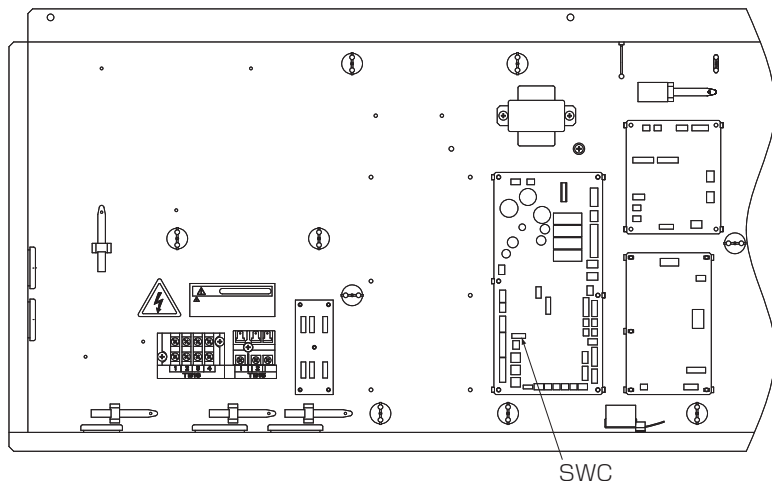
制御変更する場合は、

吸込み温度制御にする場合：「ON」設定

吹出し温度制御にする場合：「OFF」設定 にしてください。

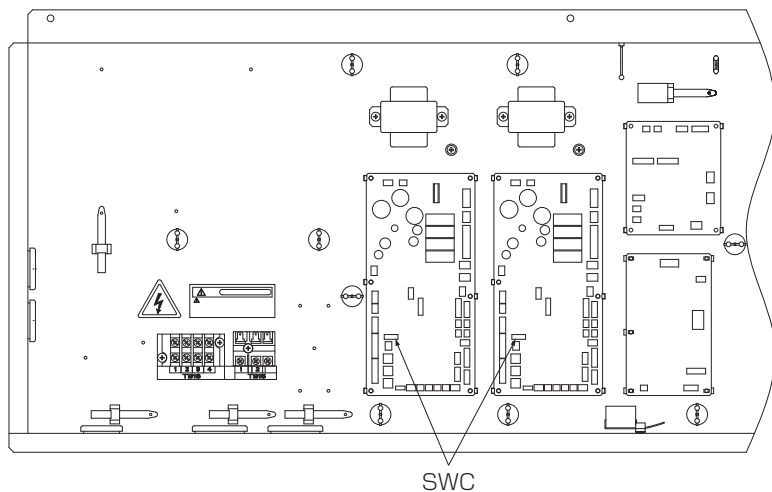
制御器

PFD-P960(V)DM-E 形



制御器

PFD-P960(V)DM-E-2C 形



- PFD-P960(V)DM-E-2C は、No.1 と No.2 の制御基板のスイッチを同一設定にしてください。
(アドレス設定および SW1-9,8-1 は除く)
- サーモ OFF すると吹出し温度=吸込み温度となるため、吹出し温度制御をご使用になる場合は、余裕をもった温度設定としてください。
- 空調負荷、外気温度、保護制御により、吹出し温度が安定しない場合や、設定温度に到達しない場合があります。

3-2-3. 送風機制御について

据付けの時、機外静圧に合った風量設定が必要となります。

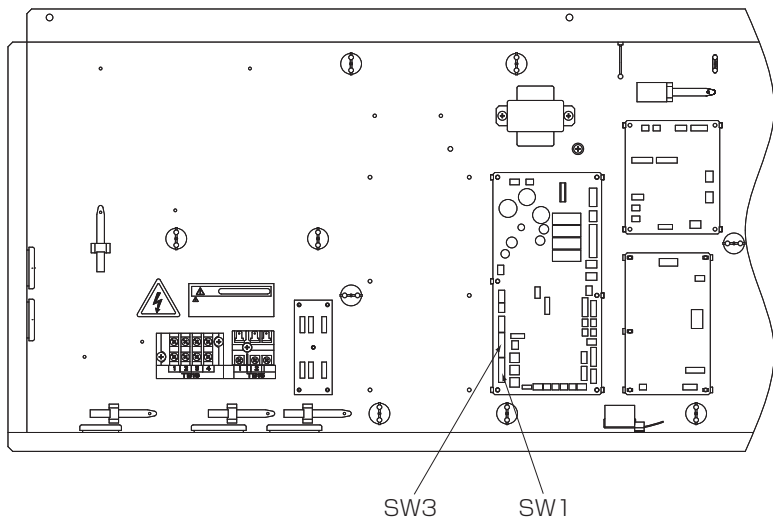
お願い

- 風量設定ミスによるトラブルを防ぐため、据付および試運転時に必ず設定を確認してください。
- 現地 SW 設定ミスによる露飛びなどのトラブルについては、一切の責任を負いかねますので、間違いのないよう設定してください。

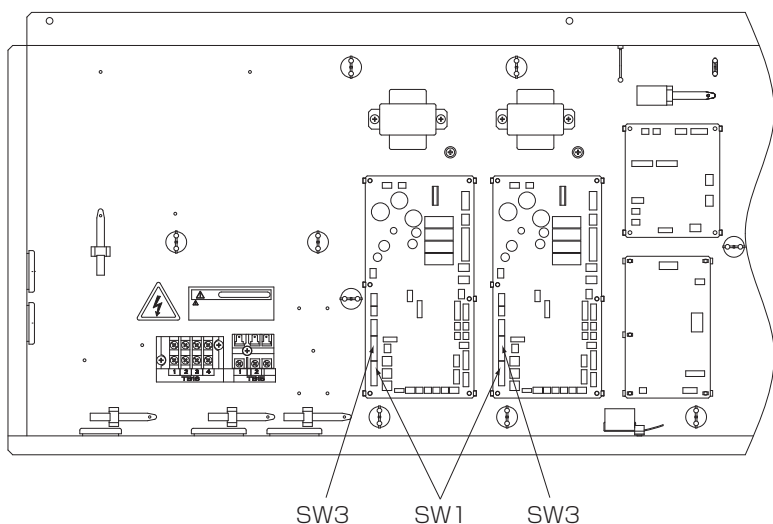
手順

1. 設置場所の機外静圧を測定する。
2. 現地の機外静圧に合った SW 設定を行う。
 - 本体上側の左パネルを開いてください。パネルはロックキーを回すと開きます。
 - 風量は Dip-SW1-1、1-6、1-7、3-6 の組合せにより決定します。出荷時には⑩に設定されています。
 - 組み込むフィルタの種類によって静風圧パターンは異なります。詳しくは設計工事マニュアルに記載の静風圧設定選定表をご覧ください。
 - 補助冷却装置組込時は、下記のように現地機外静圧を見積ってください。
 - 風量 400m³/min 時：機外静圧に “+40Pa”
 - 風量 460m³/min 時：機外静圧に “+80Pa”

PFD-P960(V)DM-E 形



PFD-P960(V)DM-E-2C 形



※ PFD-P960(V)DM-E-2C の場合、No.1 と No.2 の制御基板のスイッチを同一設定にしてください。
 (アドレス設定および SW1-9,8-1 は除く)

静風圧 パターン	風量 400m ³ /min 時 機外静圧 (Pa)	風量 460m ³ /min 時 機外静圧 (Pa)	メイン基板 SW 設定				ファン回転数 (rpm) (参考)
			1-1	1-6	1-7	3-6	
①	720	520	ON	ON	OFF	OFF	1830
②	680	480	ON	OFF	OFF	OFF	1800
③	640	440	ON	ON	ON	OFF	1770
④	600	400	ON	OFF	ON	OFF	1740
⑤	560	360	ON	ON	OFF	ON	1710
⑥	520	320	ON	OFF	OFF	ON	1680
⑦	440	240	ON	ON	ON	ON	1630
⑧	400	200	ON	OFF	ON	ON	1600
⑨	360	160	OFF	ON	OFF	OFF	1570
⑩ ※ 1	320	120	OFF	OFF	OFF	OFF	1540
⑪	280	80	OFF	ON	ON	OFF	1510
⑫	200	-	OFF	OFF	ON	OFF	1450
⑬	160	-	OFF	ON	OFF	ON	1420
⑭	120	-	OFF	OFF	OFF	ON	1390
⑮	80	-	OFF	ON	ON	ON	1360
⑯	40	-	OFF	OFF	ON	ON	1330

3. SW 設定ミスなきこと確認の上、パネルを閉める。

3-2-4. データモニタリング機能

- 作業の手間を大幅に削減します。
- 室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

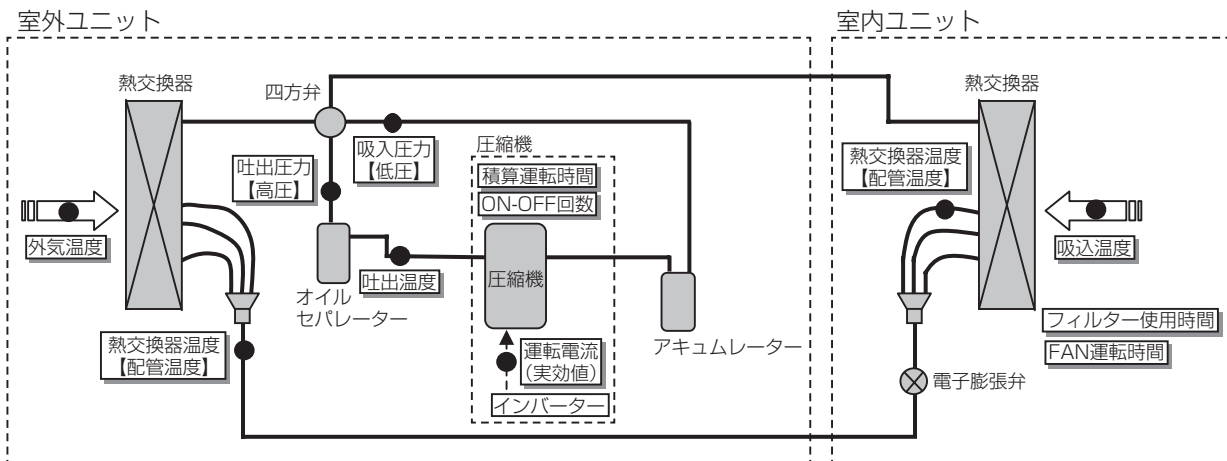
メンテナンス情報（単位）

圧縮機	積算運転時間
	ON-OFF 回数
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】
	吐出温度

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度
	フィルター使用時間
	FAN 運転時間

- ※1 圧縮機 ON-OFF 回数は 100 回単位でデータ更新します。
例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合、リモコン表示は 0 回となり、101 回の場合、リモコン表示は 100 回となります。
- ※2 圧縮機積算時間、FAN 運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。
例：実際の運転時間が 9 時間の場合、リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合、リモコン表示は 10 時間となります。

メンテナンス情報イメージ



運転時間積算利用時のお願い

- 最大積算時間
最大積算時間は右表のとおりです。運転時間が最大積算時間を超えた場合、リモコン表示は最大積算時間で固定されます。
- 運転時間のリセット
圧縮機積算運転時間はリセットできません。
フィルター使用時間は“フィルター清掃”表示設定時に【フィルター】ボタンを 2 度押しとリセットできます。
非表示設定時はリセットできません。
FAN 運転時間のリセットは 41 ページをご覧ください。
- 端数の取扱い
通電が停止するとカウントされる前の端数（FAN 運転時間は 1 ～ 9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 ～ 59 分）は 0 に戻ります。
運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。
なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（FAN 運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上）は保持されます。

項目	最大積算時間
圧縮機積算運転時間	99990 時間
フィルター使用時間	4095 時間
FAN 運転時間	81910 時間

3-2-5. メンテナンスモード操作

データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください。
(ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります。)

[1] メンテナンスモードへの切換えについて

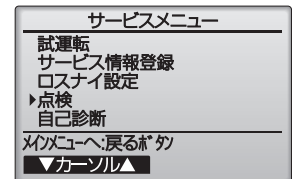
メンテナンスモードには、運転中にのみ切換えしてください。

- ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切換えしないでください。
- 試運転中は入れません。
- リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。
- 集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

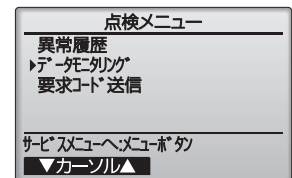
[2] 操作方法

手順

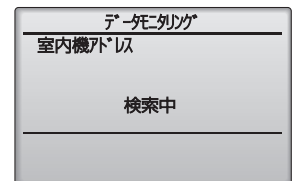
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。



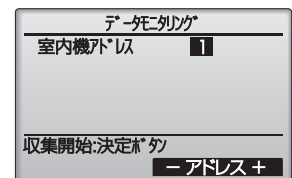
2. 点検メニュー画面に移行し、[F1][F2] ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、[決定] ボタンを押す。



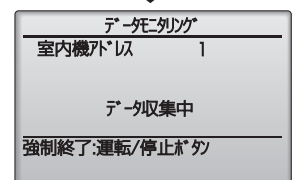
データモニタリング画面に移行し、MA リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。



3. [F3][F4] ボタンを操作して室内ユニット（制御基板）アドレスを選定し、[決定] ボタンを押す。

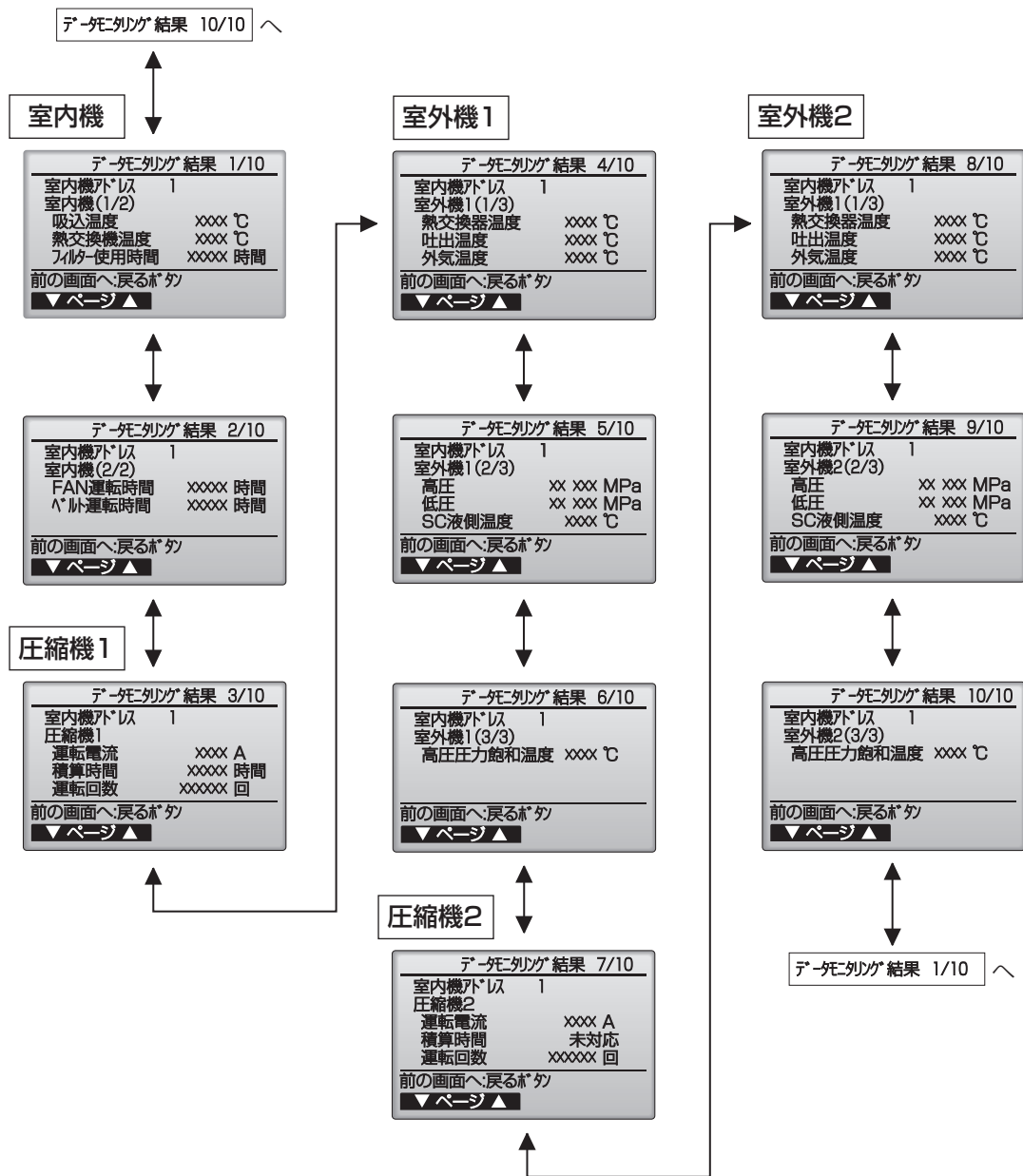


データの収集が開始され、約 5 分後データ収集が完了します。収集されるデータは、手順 3 で選択したアドレスの室内ユニット（制御基板）情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。



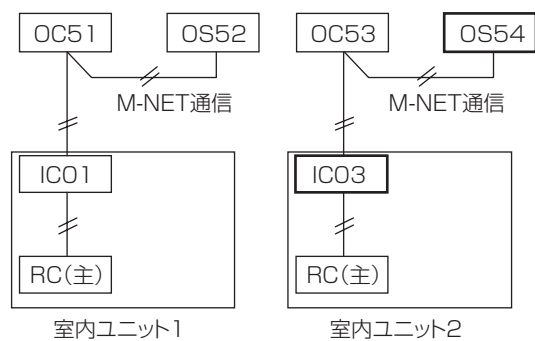
4. [F1][F2] ボタンを操作して、各ユニットの情報を表示する。

- [F1][F2] ボタン操作により画面が遷移します。
- 圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
- 室外ユニット 2 (OS1) が接続されていない場合は、室内機、圧縮機 1、室外機 1 の内容のみ表示されます。



5. データモニタリングを解除する場合は、[メニュー] または [戻る] ボタンを押す。

操作例



室外ユニット、圧縮機データをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている（M-NET 通信線）室内ユニットアドレスを選定してください。

上記システムの室内ユニット2に接続された室外ユニット（OC53、OS54）の情報をモニターする場合

- 室内ユニットアドレス **03** を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

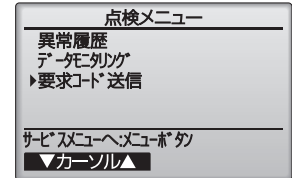
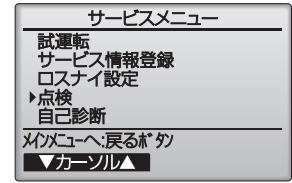
- 室内機 = IC03
- 室外機 1 = OC53
- 室外機 2 = OS54
- 圧縮機 1 = OC53
- 圧縮機 2 = OS54

- 室内ユニットアドレス **01** 設定時。
モニターする各ユニットの表示は下記となります。
 - 室内機 = IC01
 - 室外機 1 = OC51
 - 室外機 2 = OS52
 - 圧縮機 1 = OC51
 - 圧縮機 2 = OS52
- 室内ユニットアドレス **01** を設定している場合、IC03、OC53、OS54 の情報はモニターできません。

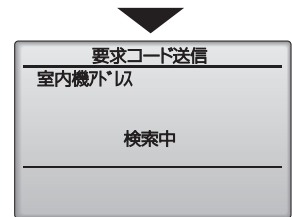
[3] データを個別にモニタしたい場合

手順

1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。
2. 点検メニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。

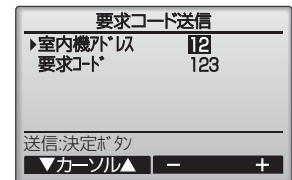


要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

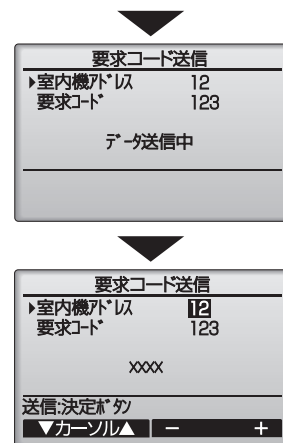


[F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機 1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	10hr
	ON-OFF 回数	3	100 回
室外機 1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	10 ⁻³ MPa
	吸込圧力【低圧】	51	10 ⁻³ MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
	SC 液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	97	℃
圧縮機 2	運転電流	53	A
	積算運転時間	54	10hr
	ON-OFF 回数	55	100 回
室外機 2	吐出温度	56	℃
	外気温度	57	℃
	吐出圧力【高圧】	59	10 ⁻³ MPa
	吸込圧力【低圧】	60	10 ⁻³ MPa
	熱交換器温度【配管温度】	61	℃
	SC 液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	99	℃
室内機	熱交換器温度【配管温度】	71	℃
	フィルター使用時間	73	hr
	吸込温度	74	℃
	FAN 運転時間	154	10hr



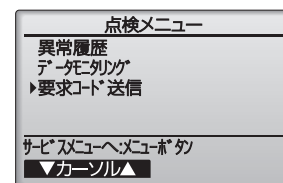
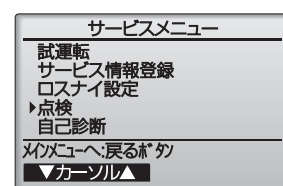
データの収集が始まり、約 10～20 秒後にモニタしたデータが表示されます。



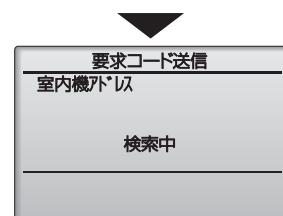
[4] ファン運転時間をリセットする場合

手順

1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。
2. 点検メニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。



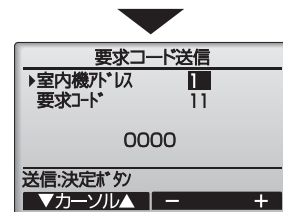
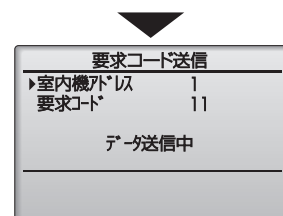
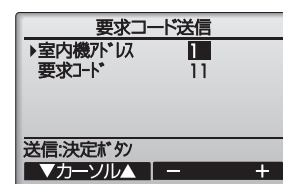
要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。



3. [F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

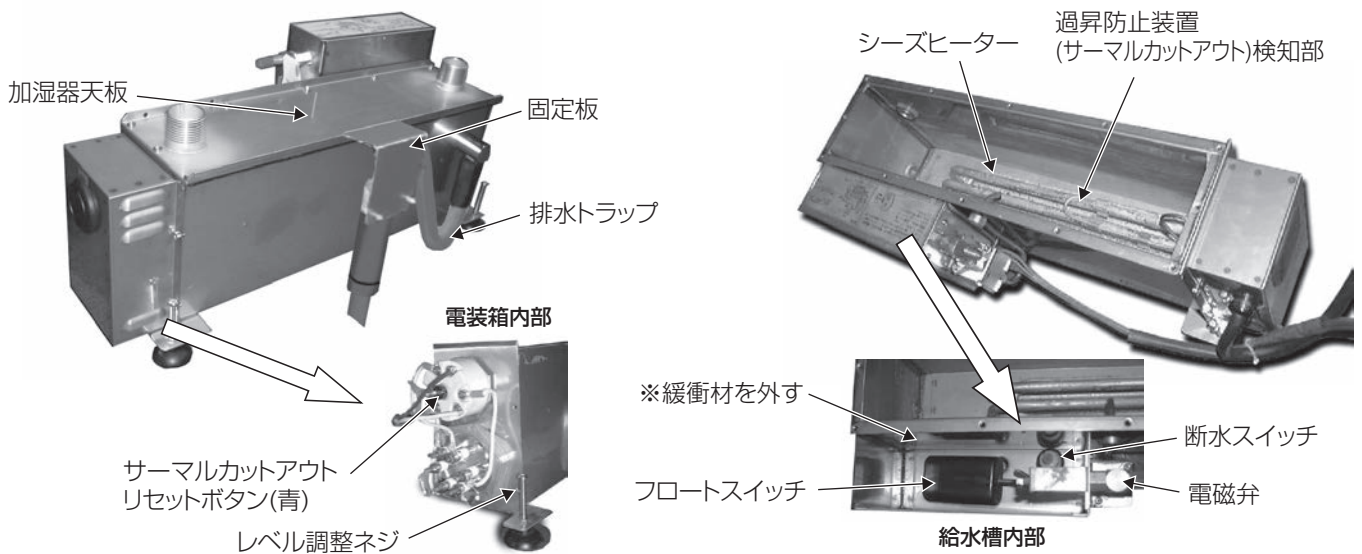
データモニタ先	設定項目	要求コード*	表示単位
室内機	FAN モーター運転時間リセット	11	—

データがリセットされます。



3-3. 加湿器取扱について

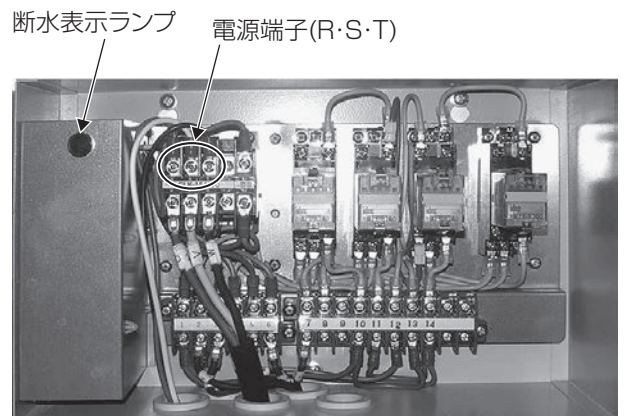
3-3-1. 各部の名称



3-3-2. 使用前／使用時のお願い

[1] 使用前のお願い

- 湿度調整器 < 現地手配 > は、必ず室内の湿度ムラのない場所に設置し、相対湿度 55% 以下の設定でご使用ください。
(高湿度下で使用されますと本体内に結露し、水漏れします)
- 給水圧力は 0.03 ~ 0.5MPa とし、水温は 0 ~ 80℃ の範囲としてください。
- 給水は上水を使用してください。
- 給水中の硬度が高い場合は軟水装置の設置をおすすめします。
軟水装置をご利用の場合はイオン交換樹脂の再生にご注意願います。
指定量を超える再生剤を充填する等の不備があると腐食傾向の水が供給され、加湿器及び本体の接水部品が腐食し、水漏れします。詳細は装置の説明書を参照し、正しくお取扱ください。
- 加湿器の給水槽の中にフロートスイッチの緩衝材がありますので外してください。
- 加湿器が水平に設置されているか、ご確認ください。傾いている場合はレベル調整ネジで水平度を出してください。(勾配 1 / 100 以内)
- 排水トラップが加湿器ドレンパンの排水口に挿入され、固定板が加湿器天板から外れていないかご確認ください。また必ず排水トラップを封水してください。(加湿器に給水した状態で、浮いているフロートスイッチを指で下に押し下げ、強制的に給水してください。排水トラップから水が出たら封水完了です)
- 試運転を行い、各配管接続部からの水漏れ、接続管に折損に至る著しい振動がないかを確認してください。



・加湿器制御箱の現地作業は必要ありません。

[2] 使用時のお願い

- 頻繁に ON / OFF する場合、吸込口から加湿器内の残留蒸気が出ることがありますが、異常ではありません。
(吸込口上部に煙感知器を設置しないでください。残留蒸気で誤検知する場合があります)
対応として、加湿器の電源ラインに接点を設け、本体を停止する前に加湿器を停止させてください。(5分程度)
- 湿度調整器は相対湿度 55% 以下の設定で運転してください。
それ以上の設定で運転しますと、ユニット本体内が結露して水漏れします。
- 本体フィルターの清掃を怠らないでください。
フィルター目詰まりで風量が低下すると、ユニット本体内が結露して水漏れします。

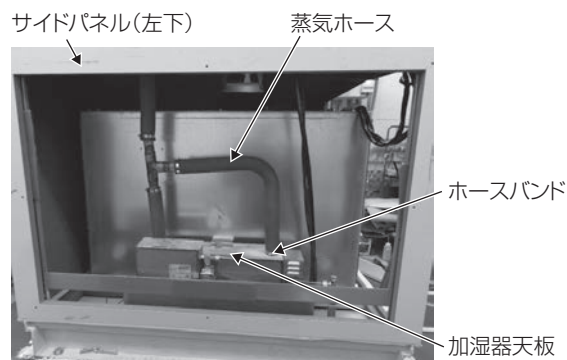
3-3-3. 各部の着脱方法

分解順に記載しています。取付は逆の手順で組立ててください。

[1] 蒸気ホースの取外し

手順

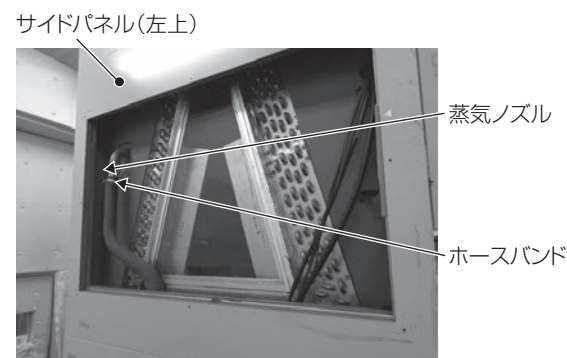
1. サイドパネル(左下)の加湿器点検口ふたを外す(ネジ8本)。
2. 加湿器本体の天板に接続されている蒸気ホース2本を根元のホースバンドを緩めて外す。



3. ユニット内の枠にホースを固定しているサドルを外す。



4. サイドパネル(左上)の蒸気ノズル点検口ふたを外す。(ネジ8本)
5. 蒸気ノズルに接続されている蒸気ホースのホースバンドを緩めて外す。

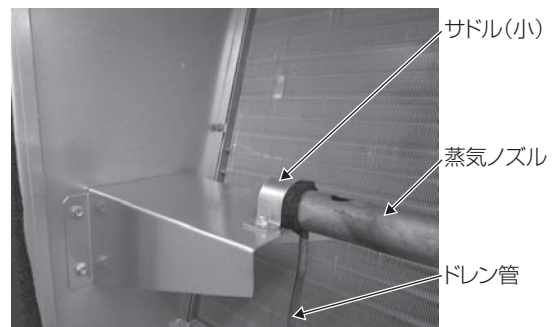


6. 点検口から蒸気ホースを引出す。

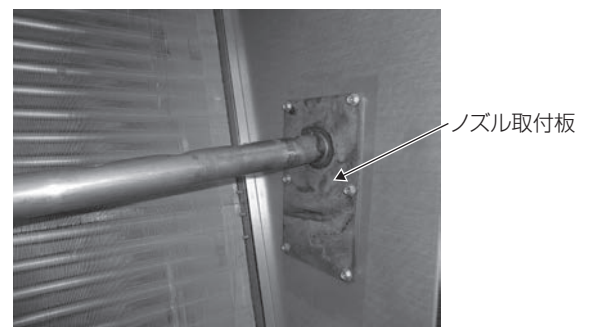
[2] 蒸気ノズルの取外し

手順

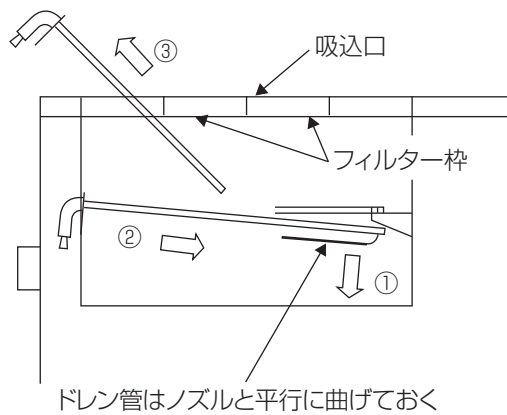
1. [1] の手順 4、5 の要領で、蒸気ノズルを外す。
2. 吸込みフィルターを取外す。
(要領は本体側の説明書を参照してください。)
3. ノズル先端を固定しているサドルを取外す。(ネジ 2 本)
ドレン管をノズルと平行に曲げます。



4. ノズル根元の取付板を取外し (ネジ 6 本)、吸込口からスライドさせて抜取る。



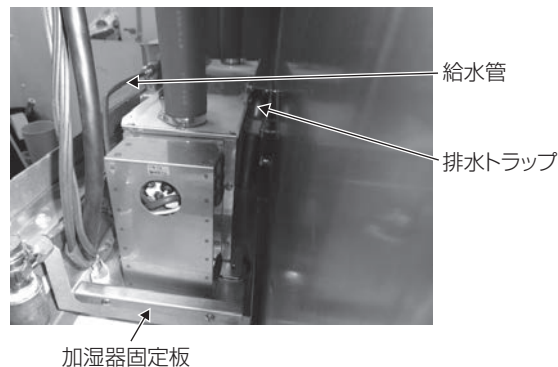
内部構造図



[3] 加湿器本体の取外し

手順

1. 加湿器の電源線・信号線を外す。
(加湿器制御箱内の端子台接続部)
2. 給水管を取外す。(フレアナット)
3. 加湿器足の固定板を取外す。(ネジ 2 本)
排水トラップは排水口から抜いておく。
手前から斜め上に持ち上げながらスライドさせて加湿器本体を取外す。



3-3-4. メンテナンス

- このペーパーパン加湿器は運転時間が合計 5 時間に達する度に自動的にオーバーフローし、濃縮された槽内の水を排水させ、スケールの発生を抑制していますが、スケールの付着は完全にはなくなりませんので、2 ヶ月に 1 回程度の割合で槽内のスケールを排出して清掃してください。
- 長期に渡って使用されない場合は、ドレン抜きから槽内の水を抜いてください。
ただし、この時断水異常を検知する可能性がありますので、室内ユニットの DipSW7-1 を ON にすることで異常取込を無効化するか、湿度調節器の設定値を低くする、または、現地配線に遮断スイッチを追加するなどして加湿指令が入力されないようにしてください。
また、再度使用される場合は、DipSW 設定または湿度調節器の設定値を必ず元に戻してください。
給水管から水の出方が悪くなったり、水が出なくなった場合はストレーナーを清掃してください。
- ユニットにて加湿器異常 (点検コード「0303」) を検出した場合は、断水または過昇防止装置の作動が考えられます。下表を参照して点検を実施してください。
- ペーパーパン加湿器が作動しなくなった場合は、ゴムブッシュを外し、過昇防止装置 (サーマルカットアウト) を調べてください。過昇防止装置が作動していると、リセットボタン (青色) が 2 ~ 3mm 飛出しています。異常を確認し、正常に戻した後、ドライバーの先でリセットボタンを押し込んでリセットしてください。
過昇防止装置が作動している要因は、主に断水スイッチの故障、または槽内のスケール溜まりが考えられます。
(断水スイッチ：給水槽内のフロートスイッチ)
- 加湿器の排水トラップ、本体のドレン配管にスケールが溜まっていないか、ストレーナーに汚れ・詰まりがないか、ご確認ください。汚れがひどい場合は取外して清掃してください。
- 製品を良好な状態で長く安心してお使いいただくために、専門技術者による定期点検を下表を参照して実施ください。

部品	点検周期	点検項目	判断基準	保全内容
ペーパーパン	2 ヶ月	槽内のスケール付着	スケールの付着なきこと	槽内、シーズヒーターの清掃 スケールの排出
		ドレン抜きからの水漏れ	水漏れなきこと	増締め
過昇防止装置	6 ヶ月	検知部のスケール付着	スケールの付着なきこと	検知部の清掃、スケールの除去
蒸気ホース	6 ヶ月	接続部の緩み	緩みなきこと	ホースバンドの増締め
		亀裂・割れの有無	亀裂・割れなきこと	ホース交換
ドレンパン 排水トラップ	6 ヶ月	汚れ・排水口の詰まり	汚れ・詰まりなきこと	清掃
		取付ネジの緩み	緩みなきこと	増締め
		劣化の有無	著しい劣化なきこと	著しい場合は交換
フロートスイッチ (断水スイッチ)	6 ヶ月	外観チェック	劣化・断線なきこと	断線及び劣化著しい場合は交換
		異物付着チェック	異物の付着なく、フロートがスムーズに動くこと	清掃
断水表示ランプ	1 年	点灯チェック	断水時点灯	断水時消灯の場合は交換
ストレーナー	1 年	汚れ・詰まり	汚れ・詰まりなきこと	清掃、異物の除去

4. お手入れ

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。



足元注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。



指示を実行

お願い

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

- パッケージエアコンを末永くより良い状態でお使いいただくために「7. 保証とアフターサービス」に従い点検を必ず実施してください。
- 安全のためにお手入れの前には必ず電源を「切」にしてから行ってください。

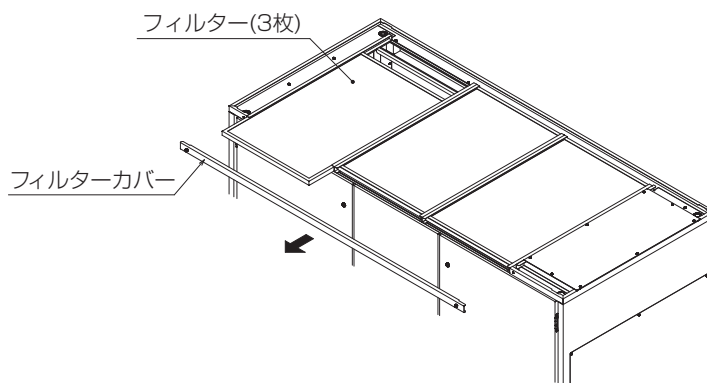
(1) フィルターの清掃

エアフィルターにゴミがたまると、冷房能力の低下や故障の原因になります。

手順

1. フィルターを取外す。

- フィルターカバーを外してください。
- フィルターを手前に引出してください。
(元に戻す場合は、向きに注意してください。
AIR FLOW 矢印下向き)



2. フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約 50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すずぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。



3. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないうでください。
変形・変色することがあります。

4. フィルターを元の状態に取付ける。(取外しの逆の手順)

(2) ドレン排水の点検

ドレン排水はスムーズに流れているか調べてください。排水不良の場合は紙粉などでドレンパンの溝部分および配水管のトラップ部がつまっていないか調べてください。

なお、ドレンパン溝部分および配水管のトラップ部は詰まらないようにこまめに清掃してください。トラップは、必ず封水された状態を保持してください。

(3) 熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、空冷式の熱交換器の場合にはほこりなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。

洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

(4) パネルの清掃

中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取ります。



お願い

- ベンジン・シンナーの使用は避けてください。



5. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/index.html>

・ フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者					設備製造者					
施設名称			系統名		設置年月日					
施設所在地			電話		使用機器	型式		製品区分		
運転管理責任者			電話			製番		設置方式		現地施工
点検事業者	会社名		責任者			用途		検知装置		
	所在地		電話		冷媒量(kg)		合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒		初期充填量(kg)	点検周期	基準	実績(月)					
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

6. 修理を依頼する前に

- ・ サービスをお申しつけ前につぎのことをお調べください。
- ・ それでも原因がわからない場合は、使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご連絡ください。

[1] ようずがおかしいとき

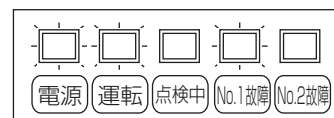
現象	原因の確認	処置方法
動かない。 室内ユニットの運転表示（緑）が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。	電源をご確認ください。
室内ユニット内操作機表示部、上位コントローラーなどにエラーコードが表示される。 室内ユニットの異常表示灯（赤）が点灯している。	自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 自分では絶対に修理しないでください。	お買上げの販売店に製品名・エラーコードの表示内容を連絡してください。
リモコンの運転表示が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示が点灯しません。	電源をご確認ください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	通常・点検切換スイッチを“通常”に設定している場合に表示します。	—
	外部発停入力、システムコントローラー（別売）などで、操作を制限しているときに表示します。制限される操作は以下のとおりです。 ・ 運転／停止 ・ 運転モード ・ 設定温度	—
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出ている。	初期設定（約1分）を行っているためです。停電からの復帰時や室内ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合などに表示します。	そのままお待ちください。
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	上位コントローラーや遠方発停入力などで、操作した場合に運転を開始します。	—
	停電自動復帰機能に設定されているため、運転中に停電または電源を切った後、電源を入れると、自動的に運転を開始します。	—
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	上位コントローラーや遠方発停入力などで、操作した場合に運転を停止します。	—
よく冷えない。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ・ フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ・ 室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに [運転・停止] ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約20秒間お待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こする音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。

現象	原因の確認	処置方法
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
すぐに風が出ない。	電源が入っていないことが考えられます。ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。	電源をご確認ください。
	運転中にもかかわらず、風が出てこない場合は、送風用モーターの異常などが考えられます。	お買い上げ販売店にご相談ください。

[2] 故障表示灯が点灯しているとき

(例) 右図は PFD-P960(V)DM-E-2C 形の冷媒系統 1 の故障時を示しています。

- ・ PFD-P960(V)DM-E 形は、No.2 故障ランプはありません。



- ・ 「運転表示灯」と「故障表示灯」の両方が点灯している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しているか、応急運転をしています。操作機に表示されています、ユニットナンバー、エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。
- ・ 故障表示灯が消えている冷媒系統は正常に動作しています。

[3] 応急運転をするとき

- ・ 応急運転モードとは、後述の異常時に異常内容に応じて、応急的に運転させるモードであり、下記の異常検知後自動的にを行います。
- ・ 2 冷媒回路接続の 1 台のみの異常発生の場合、その室外ユニットのみ応急運転、もしくは異常停止しますが、他方の正常なユニットについては通常通りの運転を行います。

お知らせ

- ・ 応急運転モードは、あくまで異常発生からサービスマンが到着するまでの応急処置です。速やかに復旧作業を実施してください。

(1) 室外ユニット故障の場合

1) 応急運転モードの開始

- ・ 異常が発生すると、リモコンに異常検出元と異常コードを表示します。
- ・ 異常を検知していない室外ユニットのみの運転に自動で切りかわり、運転を継続します。TH2、TH3、TH5、TH6 が異常の場合、センサー値を補完して運転を継続します。サーミスターの補完運転中に、他のサーミスターの異常を検知した場合は、異常停止します。

応急運転可能な異常コード (OC・OS 共通)

故障箇所	応急運転可能な異常コード	異常コード内容
圧縮機 ファンモーター インバーター	0403	シリアル通信異常
	4220, 4225	母線電圧低下異常
	4230, 4235	放熱板過熱保護
	4240, 4245	過負荷保護
	4250, 4255	過電流遮断異常
	5110	放熱板温度センサー異常 (THHS)
	5301, 5305	電流センサー／回路異常
サーミスター	TH2	サブクール熱交換器バイパス出口温度センサー異常
	TH3	配管温度センサー異常
	TH4	吐出温度センサー異常
	TH5	アキュムレーター入口温度センサー異常
	TH6	サブクール熱交換器液出口センサー異常
	TH7	外気温度センサー異常

*1 応急運転時は能力が低下します (室外ユニットの故障の台数により能力は変化します)。

2) 応急運転モードの終了

次のいずれかの条件を満足した場合、応急運転モードを終了します。

- ・ 異常リセットした場合
異常リセット方法：リモコンまたは外部入力による停止操作
- ・ 応急運転不可の異常を検知した場合

(2) 室内ユニット故障の場合

1) 応急運転モードの開始

- ・ 下表の異常検知時、リモコンに異常コード発報しながら、応急運転を行います。
- ・ 本制御中は、下記の異常データを使用しない状態で、機能低下はしますが運転は継続します（一部アクチュエータは、固定制御となります）。

応急運転可能な異常コード（IC）

故障箇所	応急運転可能な異常コード	異常コード内容
サーミスター	TH21	5101 吸込み温度センサー異常
	TH22	5102 液側配管温度センサー異常
	TH23	5103 ガス側配管温度センサー異常
	TH24	5104 吹出し温度センサー異常
LED ランプ	4101 LED ランプ異常	
加湿器	0303 加湿器異常	
ファン運転状態検知 (PFD-P960(V)DM-E-2C 形のみ)	4109 ファン運転状態検知異常 (No.1 側のみで応急運転)	

2) 応急運転モードの終了

以下の場合に応急運転モードを終了します。

- ・ 異常モードリセットされた場合
異常モードリセット方法：リモコンまたは外部入力による停止操作
- ・ サーミスター異常中に異なるサーミスター異常を検知した場合
例えば、TH21 異常にて応急運転中に TH22 の異常を新たに検知した場合に終了。
- ・ 応急運転不可の異常を検知した場合

3) その他

センサ、LED ランプ、加湿器（組込み時のみ）以外の異常内容の場合、応急運転ではなく、異常停止状態となります。（室内ファンのみ運転。ただし、室内ユニットファンインバータ異常時は室内ファンも停止します。）

7. 保証とアフターサービス

7-1. 保証について

- 保証書は、お買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日、または据付日、または試運転完了日から起算して1年間です。保証期間後の修理は有償になります。
- 保証期間でも有償になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

7-1-1. 保証できない範囲

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお客様名、据付日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
- 車輻、船舶などに搭載された場合生じる故障および損傷。
- 据付工事による故障および損傷。
- 室内のフィルター詰まり、ドレンパン詰まり等による故障および損傷。

7-2. 修理について

- 異変を感じたときは関連ページを参照してください。
「6. 修理を依頼する前に」参照（50 ページ）
- 不具合があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご連絡ください。
- 以下の内容をご連絡ください。（出張修理対象商品）

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日
故障の状況	
ご住所	
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- 保証期間中は、保証書の規程にしたがって修理させていただきますので、保証書をご提示ください。
- なお、離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎていた場合は、点検・診断のみでも有料になることがあります。また、修理が可能であれば、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金には、技術料+部品代+出張料などで構成されています。機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

- 当社は、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後9年保有しています。この基準により、補修用性能部品を調達したうえで修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施いたします。
- この製品は、日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

7-3. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご相談ください。

7-4. お問い合わせ

- ご不明な点は、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、お客様相談窓口（別添）へお問い合わせください。（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承ください。）

お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品の取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 - 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
 - あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
 - 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

8. 環境関連の表示

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店、またはメーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

- 1)この製品は、地球温暖化防止のために、適正にフロン類を回収する必要があります。
- 2)本ユニットには二酸化炭素179.4ton~216.2tonに相当するフロン類が使用されています。
- 3)上記2)の数値は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識していただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。
表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量を元に算出しています。

冷媒の地球温暖化係数

冷媒	地球温暖化係数
R410A	2090

9. 法令関連の表示

9-1. 機器予防保全の目安

以下の保全周期は、定期点検の結果に基づき必要になるであろう部品交換、修理実施の予測周期を示すものであり、保全周期で必ず交換が必要ということではありません。

また、保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

ユニット	部品	点検周期	保全周期	日常点検	保守点検	備考
室内	ファンモーター	6 カ月	40000 時間		○	
	エアフィルター	3 カ月	5 年	○		点検周期は、現地状況にて影響されます
	ドレンパン (エマージェンシードレンパンを含む)	6 カ月	8 年		○	
	ドレンホース		8 年		○	
	電子膨張弁	1 年	25000 時間		○	
	熱交換器		5 年		○	
	フロートスイッチ	6 カ月	25000 時間		○	
	表示 LED ランプ	1 年	25000 時間		○	
	ペーパーパン加湿器 (45 ページ参照)	2 カ月	25000 時間			ペーパーパン加湿器 (受注 / 別売) 組み込み時
室外	圧縮機	6 カ月	40000 時間		○	
	ファンモーター		40000 時間		○	
	電子膨張弁	1 年	25000 時間		○	
	四方弁		25000 時間		○	
	熱交換器		5 年		○	
	圧力スイッチ		25000 時間		○	

- 上表の保守・点検周期は、以下のご使用条件の場合です。
 - 頻繁な発停のない、通常のご使用条件であること。(機種によって異なりますが、通常のご使用における発停回数は、6 回/時間以下を目安としています。)
 - 製品の運転時間は、24 時間/日と仮定しています。
- また、下記の項目に適合する場合には、「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。
 - ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ② 電源変動(電圧、周波数、波形歪み等)が大きい場所でご使用される場合。(許容範囲外での使用はできません)
 - ③ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- 点検周期に基づいた定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発事故が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 電気部品に絶対に水(洗浄水)をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

9-2. 消耗部品の点検周期目安

機種	部品	点検周期	点検項目	判定基準	保全内容
室内	ファンモーター	6 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音なし ・絶縁抵抗が 1M Ω以上のこと 	絶縁劣化の場合、交換
	エアフィルター	3 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、破損の外観チェック ・清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、破損なし 	清掃 汚れひどく、破損の場合、交換
	ドレンパン (エマーゼンシー ドレンパンを含む)	6 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、排水口詰まりチェック ・取付け部ネジ緩みチェック ・劣化有無チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、詰まりなし ・ネジ緩みなし ・著しい劣化なし 	汚れ、詰まりの場合清掃 ネジ増し締め 劣化著しい場合、交換
	ドレンホース		<ul style="list-style-type: none"> ・封水の確認 (ホース内に注水する) ・汚れ、排水口詰まりチェック ・劣化有無のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、詰まりなし ・著しい劣化なし 	汚れ、詰まりの場合清掃 劣化著しい場合、交換
	電子膨張弁	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・運転データによる動作 チェック 	制御開度変化に対する温度変化が 妥当なこと (集中操作器にて温度変化 確認)	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	熱交換器		<ul style="list-style-type: none"> ・詰まり、汚れ、損傷チェック 	詰まり、汚れ、損傷なし	清掃
	フロートスイッチ	6 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・外観チェック ・異物付着チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化、断線なきこと ・異物なきこと 	断線、および著しい劣化の場合、交換 異物付着の場合、清掃
	表示 LED ランプ	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・出力 ON で点灯 ・輝度低下 	出力 ON でも消灯の場合、ランプ交換
	ペーパーパン加湿器	2 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・槽内のスケール付着 ・ドレン抜きからの水漏れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケールの付着なきこと ・水漏れなきこと 	異物付着の場合、清掃 電磁弁動作不良で、要因が本体の場 合、交換
室外 (空冷)	圧縮機	6 ヵ月	<ul style="list-style-type: none"> ・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 ・端子緩み外観確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音なし ・絶縁抵抗が 1M Ω以上のこと ・端子緩みなし 	冷媒が寝込んでない状態で絶縁劣化 の場合、交換 端子緩みの場合、増し締め
	ファンモーター (空冷室外ユニットのみ)		<ul style="list-style-type: none"> ・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音なし ・絶縁抵抗が 1M Ω以上のこと 	絶縁劣化の場合、交換
	電子膨張弁	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・運転データによる動作 チェック 	制御開度変化に対する温度変化が妥 当なこと (集中操作器にて温度変化 確認)	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	四方弁		<ul style="list-style-type: none"> ・運転データによる動作 チェック 	弁切換え時で温度変化が妥当なこと (冷房 / 暖房運転切換え時の温度変化 確認)	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	熱交換器		<ul style="list-style-type: none"> ・詰まり、汚れ、損傷チェック 	詰まり、汚れ、損傷	清掃
圧力スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・断線、劣化、コネクタ抜け チェック ・絶縁抵抗の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・断線、劣化、コネクタ抜けなし ・絶縁抵抗が 1M Ω以上のこと 	断線、ショート、著しい劣化、絶縁劣 化の場合、交換		

- ・点検周期は使用方法・環境により前後します。
なお点検周期は保証期間ではありません。
- ・保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

10. 仕様

(1) 標準仕様

項目	形名	PFD-P960DM-E(-2C)
電源		三相 200V 50/60Hz
冷房能力 (最大) (kW)		80.0 (96.0)
外形寸法	高さ (mm)	1995 (標準フィルターボックス組込時: 2030)
	幅 (mm)	2380
	奥行 (mm)	1080
風量 (最大能力時) (m ³ /min)		400 (460)
騒音値 (dB)		67.5
製品質量 / 台 (kg)		930 (標準フィルターボックス組込時: 952)

- ※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
- ※2 上記の騒音値は、A 特性です。
- ※3 能力欄の () 内は、最大値を示します。
- ※4 風量欄の () 内は、最大能力設定時の風量を示します。

(2) 異電圧仕様

項目	形名	PFD-P960VDM-E(-2C)
電源		三相 400V,415V,440V 50/60Hz
冷房能力 (最大) (kW)		80.0 (96.0)
外形寸法	高さ (mm)	1995 (標準フィルターボックス組込時: 2030)
	幅 (mm)	2380
	奥行 (mm)	1080
風量 (最大能力時) (m ³ /min)		400 (460)
騒音値 (dB)		67.5
製品質量 / 台 (kg)		935 (標準フィルターボックス組込時: 957)

- ※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
- ※2 上記の騒音値は、A 特性です。
- ※3 能力欄の () 内は、最大値を示します。
- ※4 風量欄の () 内は、最大能力設定時の風量を示します。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT07364X02